

令和5年度 第2回杉並区外部評価委員会 次第

令和5年10月27日
東棟4階庁議室

1 本日の予定

2 所管課ヒアリング

- (1) 施策12 いきいきと住み続けることができる健康づくり
- (2) 特定非営利活動法人すぎなみ環境ネットワーク

3 その他

○第3回外部評価委員会（所管課ヒアリング・視察）

11月7日(火) 午前9時20分～11時35分(予定)

区役所中棟4階第2委員会室

※午前9時20分までに区役所東棟4階企画課にお集まりください。

○第4回外部評価委員会（所管課ヒアリング・視察）

11月9日(木) 午前9時～12時10分(予定)

区役所中棟4階第2委員会室

※午前9時までに区役所東棟4階企画課にお集まりください。

<資料>

資料1 令和5年度外部評価の実施について(対象施策等)

資料2 令和5年度 第2回・第3回・第4回 外部評価委員会スケジュール

資料3 ヒアリング対象施策評価表及び施策を構成する事務事業評価表、
財団等経営評価表

令和5年度外部評価の実施について(対象施策等)

1 外部評価対象施策等及び外部評価の進め方

(1) 施策 (5施策)

施策評価表及び施策を構成する事務事業評価表のほか、外部評価委員会による所管課へのヒアリング・現地視察を踏まえた評価を行う。

施策	事業数	施策担当課 (関係課)	担当委員
施策 6 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備	14	都市整備部管理課 (土木管理課、杉並土木事務所、学務課)	岩下
施策11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成	11	みどり公園課 (土木計画課)	奥
施策12 いきいきと住み続けることができる健康づくり	19	健康推進課 (国保年金課、高齢者在宅支援課、保健予防課、保健サービス課)	田淵
施策15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援	37	高齢者在宅支援課 (高齢者施策課、介護保険課)	高山
施策23 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進	8	特別支援教育課 (教育委員会事務局庶務課、学務課、済美教育センター)	山本

(2) 財団等経営評価 (1団体)

財団等経営評価表のほか、外部評価委員会による財団等へのヒアリングを踏まえた評価を行う。

団体	担当課	担当委員
特定非営利活動法人 すぎなみ環境ネットワーク	環境課	山本

2 スケジュール(予定)

令和5年 10月27日(金)	第2回外部評価委員会	ヒアリング <u>1施策、1団体</u>
11月 7日(火)	第3回外部評価委員会	ヒアリング <u>2施策(1施策:現地視察含む)</u>
11月 9日(木)	第4回外部評価委員会	ヒアリング <u>2施策(1施策:現地視察含む)</u>
12月 中旬	外部評価委員による外部評価表提出	
12月 下旬～	所管課対処方針作成 (令和6年1月中旬〆切 (予定))	
12月26日(火)	第5回外部評価委員会	入札監視
令和6年 1月 下旬	第6回外部評価委員会	外部評価のまとめ

3 所管課へのヒアリング等

(1) 目的

- 外部評価委員会が、区の自己評価について、施策や事業の必要性、妥当性、有効性などを専門的視点から検証し、評価の客観性を高めるためにヒアリング・視察を実施する。
- ヒアリング・視察を通じ、外部評価委員が施策や事業の実際の状況を的確に把握し、適切な評価につなげる。また、各所管課においては、今後の行政評価や事業を展開するうえでの参考とする。

(2) 実施概要

ヒアリングは公開とし、各施策等の担当委員を中心に、外部評価委員会が行う。

令和5年度 第2回・第3回・第4回 外部評価委員会スケジュール

第2回：10月27日（金）13時25分～15時15分（ヒアリング1施策、1団体）＊オンライン参加者1名(予定)

第3回：11月7日（火）9時20分～11時35分（ヒアリング2施策／現地視察1か所）

第4回：11月9日（木）9時00分～12時10分（ヒアリング2施策／現地視察1か所）

<ヒアリング実施方法>

- 10月27日は、オンラインを併用して開催する。
- 現地視察実施日は区役所で開催する。
- 施策担当課長及び関係課長による説明及び質疑
 - ・ 1 施策：50分程度（説明7分、質疑・まとめ43分 予定）
 - ・ 1 団体：50分程度（説明7分、質疑・まとめ43分 予定）
- ヒアリングは公開とし、各施策等の担当委員を中心に、外部評価委員会が行う。

<現地視察実施方法>

- 同一施策のヒアリングと現地視察は同日に実施する。
- 施策または事業を担当する職員等が同行し、委員への説明等を行う。
- 視察は委員及び区職員のみで実施し、視察後、ヒアリング開始時より区民等の傍聴を可能とする。

第2回：10月27日（金） 【ヒアリング会場】庁議室

※ 13時25分までに杉並区役所東棟4階 企画課へお集まりください。

■対象施策等・実施内容

施策名等	実施内容	担当課	担当委員
施策12「いきいきと住み続けることができる健康づくり」	ヒアリング	健康推進課（国保年金課、高齢者在宅支援課、保健予防課、保健サービス課）	田淵
特定非営利活動法人すぎなみ環境ネットワーク	ヒアリング	環境課	山本

■ヒアリング等スケジュール *オンライン参加者1名(予定)

時間	内容	所要時間	備考
13:25	開会		
13:25～13:30	スケジュール確認等	5分	
13:30～14:20	ヒアリング：施策12	50分	
14:20～15:10	ヒアリング：すぎなみ環境ネットワーク	50分	
15:10～15:15	事務連絡	5分	事務連絡（事務局）

第3回：11月7日（火）【ヒアリング会場】第2委員会室

※ 午前9時20分までに杉並区役所東棟4階 企画課へお集まりください。

■対象施策等・実施内容

施策名等	実施内容	担当課	担当委員
施策6「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」	現地視察・ヒアリング	都市整備部管理課 (土木管理課、杉並土木事務所、学務課)	岩下
施策15「高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援」	ヒアリング	高齢者在宅支援課 (高齢者施策課、介護保険課)	高山

■ヒアリング等スケジュール

時間	内容	所要時間	備考
09:20	企画課に集合		
09:20~09:25	スケジュール確認等	5分	
09:25~09:27	(移動)	2分	
09:27~09:42	現地視察：施策6	15分	視察場所：シェアサイクル等（杉並区役所東棟前）
09:42~09:50	(移動・休憩)	8分	
09:50~10:40	ヒアリング：施策6	50分	
10:40~11:30	ヒアリング：施策15	50分	
11:30~11:35	事務連絡	5分	事務連絡（事務局）

第4回：11月9日（木）【ヒアリング会場】第2委員会室

■対象施策等・実施内容

※ 午前9時までに杉並区役所東棟4階 企画課へお集まりください。

施策名等	実施内容	担当課	担当委員
施策11「グリーンインフラを活用した都市環境の形成」	現地視察・ヒアリング	みどり公園課（土木計画課）	奥
施策23「多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進」	ヒアリング	特別支援教育課（教育委員会事務局庶務課、学務課、済美教育センター）	山本

■ヒアリング等スケジュール

時間	内容	所要時間	備考
09:00	企画課に集合	5分	
09:05～09:30	（移動）	25分	
09:30～10:00	現地視察：施策11	30分	視察場所：三井の森公園（杉並区高井戸東1-28-2）
10:00～10:25	（移動・休憩）	25分	
10:25～11:15	ヒアリング：施策11	50分	
11:15～12:05	ヒアリング：施策23	50分	
12:05～12:10	事務連絡	5分	事務連絡（事務局）

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

施策	12	いきいきと住み続けることができる健康づくり
目標	04	「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまち
施策担当課	健康推進課	関係課 保健サービス課 保健予防課 国保年金課

施策目標	<p>○区民や事業者などが協働・連携し、ICTなどの活用が進み、誰もが健康づくりに参加できる機会が保障されています。また、一人ひとりが健康管理・健康増進に取り組み、健康寿命が延伸されています。</p> <p>○がん対策、糖尿病などの生活習慣病対策が効果的に実施され、発症予防・重症化予防が進み、がんによる死亡率及び糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群が減少しています。</p> <p>○生活習慣病予防から介護予防、認知症予防の取組により、高齢になっても自立して生活できています。</p> <p>○心の病気に関する正しい知識の普及が進むとともに、早期発見、早期対処が行われています。</p>
------	---

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	各教室への参加延べ人数	指標名 (1)	65歳健康寿命 (男性)
算式・指標説明	保健センター健康増進教室に参加した延べ人数	算式・指標説明	65歳の人が必要介護認定 (要介護2以上) を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したものを【社会】
指標名 (2)	特定保健指導実利用者数	指標名 (2)	65歳健康寿命 (女性)
算式・指標説明		算式・指標説明	65歳の人が必要介護認定 (要介護2以上) を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したものを【社会】
指標名 (3)	がん検診受診者数	指標名 (3)	特定保健指導対象者割合の減少率
算式・指標説明		算式・指標説明	特定健診における特定保健指導対象者割合の減少率 (平成20年度 (2008年度) 比) 【社会】
指標名 (4)	精神保健相談実施回数	指標名 (4)	がんの75歳未満年齢調整死亡率 (男性)
算式・指標説明	精神科医による精神保健相談	算式・指標説明	年齢調整死亡率=人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出【社会】
		指標名 (5)	がんの75歳未満年齢調整死亡率 (女性)
		算式・指標説明	年齢調整死亡率=人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出【社会】
		指標名 (6)	ゲートキーパー養成者数 (累計)
		算式・指標説明	悩みや不安に寄り添えるよう、区のゲートキーパー養成講座を受講した区民・学校関係者・職員等の数【行政】

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標	活動指標 (1)	1	人	311	1,400	699	1,000	727		
	活動指標 (2)	2	人	310	750	238	600	123		
	活動指標 (3)	3	人	112,205	132,800	125,452	159,850	126,066		
	活動指標 (4)	4	回	161	160	162	160	160		
成果指標	成果指標 (1)	5	歳	83.6	84.0	83.8	83.8	83.7	84.4歳	令和12年度
	成果指標 (2)	6	歳	86.7	87.0	86.9	87.0	86.8	88.2歳	令和12年度
	成果指標 (3)	7	%	25.5	25.0 以上	29.8	25.0 以上	25.5	25.0% 以上	令和12年度
	成果指標 (4)	8		79.6	92.1	73.3	77.1	72.9	67.9	令和12年度
	成果指標 (5)	9		52.6	51.4	58.7	52.6	51.7	49.2	令和12年度
	成果指標 (6)	10	人	1,836	0	2,009	2,150	2,263	3,350人	令和12年度
施策コスト	事業費	11	千円	1,962,076	2,439,626	2,044,285	2,485,042	2,071,669	特記事項	
	人件費	12	千円	588,894	593,079	587,694	584,460	578,554		
	総事業費 (11+12)	13	千円	2,550,970	3,032,705	2,631,979	3,069,502	2,650,223		
	国・都からの補助金等	14	千円	726,090	708,843	761,568	877,918	784,632		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			3.2	1.2	0.7		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	23.1	19.6	22.3	19.0	21.8		

課題・分析	<p>「人生100年時代」を迎え、生涯にわたって健やかに暮らせる健康長寿社会の実現を目指す中で、健康の重要性はますます高まっています。この間、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化したことにより、人や物との接触を最小限にするなど区民の生活様式は大きく変容し、人々の身体活動・社会活動が抑制されるとともに、人と人とのつながりの希薄化をもたらしたと考えられます。このことは、運動不足など身体活動の変化やフレイルの悪化のほかストレスの増加など、健康面への影響等が表れており早急に対応する必要があります。また、がん検診・特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率も、コロナ禍における受診控え等により下がっており、コロナ前の水準に戻すよう受診勧奨を推進する必要があります。このほか、区民生活や社会環境の変化等に沿った健康づくりの充実が求められており、病気になる前段階からの予防的な取組やICTを活用した利便性の高い取組などを講じていく必要があります。</p>				
施策の成果	<p>若い世代からの健康づくりや高齢者の介護予防などの各種講座等は、対面式のほかICTを活用してオンライン講座や動画配信を行い、区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む環境を推進しました。</p> <p>健康づくりリーダーや食育推進ボランティアの育成など区民や関係団体等との協働による健康づくりを進めることで、65歳以上の健康寿命の延伸につなげています。</p> <p>健康な生活を維持するためには自らの健康状態を把握し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療及び生活改善が大切であることから、職場等で受診機会のない方を対象にがん検診を実施するとともに、健診・検診データを活用して、特定保健指導、歯科疾患の重症化予防や糖尿病予防の普及啓発等を行い、「自らの健康は自らが作る」という健康意識の醸成を図りました。</p> <p>感染症の蔓延などによる生活様式の変化により、ストレスを抱える方を早期発見・早期対応していくため、新たに254人のゲートキーパーを養成して自殺予防の取組を進めるとともに、心の健康づくりとして、精神科医等による精神保健相談や講演会を行い、心の病気を未然に防止する取組を推進しました。</p>				
改善・見直しの方向 中長期	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 824 774 869">今後の施策の方向性</td> <td data-bbox="774 824 1538 869">サービス増</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 869 774 1258">今後の進め方</td> <td data-bbox="774 869 1538 1258"> <p>国の「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21〈第三次〉）」では、人生100年時代を迎え社会が多様化する中、国民一人ひとりの健康課題に寄り添いつつ、誰一人取り残されることのない、より実効性のある健康づくりの取組を進めていくことが求められています。</p> <p>「人生100年時代を自分らしく健やかに生きることができるまち」を目指し、区民、地域の団体、事業者などとの連携や協働による取組を進めるとともに、ICTの活用による講習参加機会の拡充など、誰もが健康づくりに参加できる機会を確保していきます。加えて、誰もが自分らしく健康に外出し、まちをストレスなく歩き運動することができるよう関係機関と連携し、身近な地域で体を動かす環境づくりを推進していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診及び特定健康診査の受診率並びに特定保健指導の利用者数が減少していることから、コロナ前の水準に戻すことに加え、更なる受診率向上につながるよう、受診勧奨の強化を図ります。</p> <p>社会全体のつながりが希薄化する中で、区民の心の健康を保つため心の健康保持に係る啓発活動を推進するとともに、相談支援体制を強化し、特に若年層、女性及び働く人等への支援を強化していきます。</p> </td> </tr> </table>	今後の施策の方向性	サービス増	今後の進め方	<p>国の「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21〈第三次〉）」では、人生100年時代を迎え社会が多様化する中、国民一人ひとりの健康課題に寄り添いつつ、誰一人取り残されることのない、より実効性のある健康づくりの取組を進めていくことが求められています。</p> <p>「人生100年時代を自分らしく健やかに生きることができるまち」を目指し、区民、地域の団体、事業者などとの連携や協働による取組を進めるとともに、ICTの活用による講習参加機会の拡充など、誰もが健康づくりに参加できる機会を確保していきます。加えて、誰もが自分らしく健康に外出し、まちをストレスなく歩き運動することができるよう関係機関と連携し、身近な地域で体を動かす環境づくりを推進していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診及び特定健康診査の受診率並びに特定保健指導の利用者数が減少していることから、コロナ前の水準に戻すことに加え、更なる受診率向上につながるよう、受診勧奨の強化を図ります。</p> <p>社会全体のつながりが希薄化する中で、区民の心の健康を保つため心の健康保持に係る啓発活動を推進するとともに、相談支援体制を強化し、特に若年層、女性及び働く人等への支援を強化していきます。</p>
今後の施策の方向性	サービス増				
今後の進め方	<p>国の「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21〈第三次〉）」では、人生100年時代を迎え社会が多様化する中、国民一人ひとりの健康課題に寄り添いつつ、誰一人取り残されることのない、より実効性のある健康づくりの取組を進めていくことが求められています。</p> <p>「人生100年時代を自分らしく健やかに生きることができるまち」を目指し、区民、地域の団体、事業者などとの連携や協働による取組を進めるとともに、ICTの活用による講習参加機会の拡充など、誰もが健康づくりに参加できる機会を確保していきます。加えて、誰もが自分らしく健康に外出し、まちをストレスなく歩き運動することができるよう関係機関と連携し、身近な地域で体を動かす環境づくりを推進していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診及び特定健康診査の受診率並びに特定保健指導の利用者数が減少していることから、コロナ前の水準に戻すことに加え、更なる受診率向上につながるよう、受診勧奨の強化を図ります。</p> <p>社会全体のつながりが希薄化する中で、区民の心の健康を保つため心の健康保持に係る啓発活動を推進するとともに、相談支援体制を強化し、特に若年層、女性及び働く人等への支援を強化していきます。</p>				

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 12】【施策名称 いきいきと住み続けることができる健康づくり】

金額の単位は千円

(00047)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 310	衛生統計調査			1,352	2,364	3,716	現状維持
2 315	区民と進める健康づくりの推進			8,893	59,972	68,865	現状維持
3 316	健康や栄養に関する指導・啓発			136	8,992	9,128	現状維持
4 317	がん検診			700,837	36,654	737,491	推進（拡充）
5 318	区民健康診査			84,618	14,360	98,978	現状維持
6 319	成人歯科健康診査			48,237	9,181	57,418	現状維持
7 320	中高年者眼科検診			62,417	5,416	67,833	現状維持
8 321	生活習慣病予防対策			4,120	11,331	15,451	現状維持
9 322	精神保健・難病対策			15,886	223,895	239,781	現状維持
10 323	受動喫煙等防止対策の推進			1,156	13,539	14,695	推進（拡充）
11 326	がん対策の推進			516	5,090	5,606	現状維持
12 327	健康づくり推進活動			5,530	16,258	21,788	現状維持
13 339	大気汚染被害対策			4,483	12,272	16,755	現状維持
14 343	保健所等施設の維持管理			117,144	12,166	129,310	現状維持
15 345	保健センターの維持管理			56,795	78,008	134,803	現状維持
16 567	国民健康保険保健事業			55,640	14,303	69,943	現状維持
17 568	特定健康診査・特定保健指導事業			438,456	6,094	444,550	現状維持
18 591	一般介護予防事業			70,130	38,568	108,698	推進（拡充）
19 610	後期高齢者健康診査			395,323	10,091	405,414	推進（拡充）
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,071,669	578,554	2,650,223	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

令和 5年度杉並区施策評価表（評価指標一覧）

(00047)

上段：目標値
下段：実績値

【施策 12】【施策名称 いきいきと住み続けることができる健康づくり】

指標区分	指標名 算定式・指標説明等	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
活動指標	各教室への参加延べ人数 保健センター健康増進教室に参加した延べ人数	人	0 311	1,400 699	1,000 727	1,000 0
活動指標	特定保健指導実利用者数	人	0 310	750 238	600 123	600 0
活動指標	がん検診受診者数	人	0 112,205	132,800 125,452	159,850 126,066	160,600 0
活動指標	精神保健相談実施回数 精神科医による精神保健相談	回	0 161	160 162	160 160	160 0
成果指標	65歳健康寿命（男性） 65歳の人が必要介護認定（要介護2以上）を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したもの【社会】	歳	83.9 83.6	84.0 83.8	83.8 83.7	83.8 0.0
成果指標	65歳健康寿命（女性） 65歳の人が必要介護認定（要介護2以上）を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したもの【社会】	歳	86.9 86.7	87.0 86.9	87.0 86.8	87.2 0.0
成果指標	特定保健指導対象者割合の減少率 特定健診における特定保健指導対象者割合の減少率（平成20年度（2008年度）比）【社会】	%	25.0 25.5	25.0 29.8	25.0 25.5	25.0 0.0
成果指標	がんの75歳未満年齢調整死亡率（男性） 年齢調整死亡率＝人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出【社会】		92.8 79.6	92.1 73.3	77.1 72.9	75.9 0.0
成果指標	がんの75歳未満年齢調整死亡率（女性） 年齢調整死亡率＝人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出【社会】		51.8 52.6	51.4 58.7	52.6 51.7	52.6 0.0
成果指標	ゲートキーパー養成者数（累計） 悩みや不安に寄り添えるよう、区のゲートキーパー養成講座を受講した区民・学校関係者・職員等の数【行政】	人	0 1,836	0 2,009	2,150 2,263	2,300 0

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00312)

事務事業名称	衛生統計調査	款	04	項	05	目	01	事業	004	整理番号	310
現担当課名	健康推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	308	
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始											
令和 4年度担当課名	健康推進課					事業評価区分	その他簡易な評価				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 ○区民 ○調査対象者 ○事象別対象者	根拠法令等 (1) 統計法 (2) 統計報告調整法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等に広く反映させる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 厚生労働省から委託された各種統計調査 (人口動態・国民生活基礎調査等) を実施する。人口動態調査の調査票に基づき、杉並区の人口動態事象に関する統計資料を作成する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								53.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	857	2,900	709	2,552	1,352	2,909	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,105	850	1,085	1,669	1,996	1,664	事業費残の理由 国民健康・栄養調査について、国が指定した調査地区数が見込みよりも少なかったため、調査員報酬や調査世帯への配布物が大幅に減少したことから残となりました。 前年度事業費からの10%以上の増の理由 令和4年度は国民生活基礎調査及び社会保障・人口問題基本調査が大規模調査年であったことから、調査区及び世帯数が前年より増加したため、前年度より増額となりました。
	上記以外の職員	7 千円	363	363	368	368	368	368	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,325	4,113	2,162	4,589	3,716	4,941		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	857	2,900	709	2,552	1,352	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	857	2,900	709	2,552	1,352	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,468	1,213	1,453	2,037	2,364	4,941	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 310

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	国民生活基礎調査		604	世帯
	国民健康・栄養調査	27	件	219
	社会保障・人口問題基本調査	305	世帯	183
	人口動態調査	13,407	件	3
	その他 (医療施設調査ほか)			213
取組成果	<p>国民生活基礎調査、国民健康・栄養調査、社会保障・人口問題基本調査、人口動態調査、医療施設調査、医療関係者調査、さらに5年に1度を行う歯科疾患実態調査をそれぞれ計画的に実施したことにより、衛生統計の正確な基礎資料を作成することができました。</p> <p>また、人口動態事象に関する統計資料を作成したことにより、各課において地域保健施策等の活用に資することができました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度は人口動態調査、衛生統計調査、国民生活基礎調査、国民健康・栄養調査、社会保障・人口問題基本調査、医療施設調査、受療行動調査、患者調査の8調査を実施し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることで、区民の生活環境向上に寄与しています。なお、国民生活基礎調査、社会保障・人口問題基本調査、国民健康・栄養調査の3調査について、国から指定された調査地区数が少なかったため、予算執行率は約50%となる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>区民の個人情報保護に対する意識の高まりなどにより調査拒否世帯が増えていることや、調査員の高齢化と職務の困難化により、調査員が不足するなど、統計調査を円滑に実施することが年々難しくなっています。各種統計調査を円滑かつ的確に実施するためには、統計調査に対する区民の理解と協力が欠かせません。調査員が区民に対してわかりやすく丁寧に説明できるよう、調査員説明会を充実させるとともに、調査員との更なる連携を図っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度は人口動態調査、国民生活基礎調査、医療施設調査、医療関係者調査、社会保障・人口問題基本調査、衛生統計調査、国民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査の8調査を予定しています。国は令和6年度になってから調査実施を通知の上、対象地区・施設を指定することから予算見積りは指定調査地区数等が不明のため、過去の指定地区数等を参考に積算することとします。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00318)

事務事業名称	区民と進める健康づくりの推進				款	04	項	05	目	01	事業	013	整理番号	315	
現担当課名	健康推進課		係名	健康推進係		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	313					
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 9年度	実行計画事業	目標 04	施策 12	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
令和 4年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	健康に関心を持ち、健康なまちづくりへの参加ができる区民、団体、事業者等	根拠法令等 (1) 健康増進法 (2) 食育基本法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	健康づくり推進条例に基づき、健康づくりに主体的に取り組む区民、団体、事業者を増やす。自主グループ活動を通じ健康づくりの仲間を増やす。生活習慣の改善を支援する食環境の整備を行う。歯科口腔保健の向上を図る。	活動指標 指標名 (1) 自主グループで活動している人数 指標説明 指標名 (2) 健康づくり応援店の新規登録件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	自主グループの活動を支援し、健康づくりや食育に参画する区民のネットワークを拡大する。食育推進ボランティアをはじめ、地域の団体等の参加と協働による食育イベント等、食育の普及活動を推進する。よい歯健口フェスティバルを開催する。健康づくり応援店事業を実施する。歯と口腔の健康づくりの推進に関する事業を実施する。	指標説明 健康づくり応援店（ヘルシーメニュー店と健康情報店）として、新規に登録した件数 成果指標 指標名 (1) 自分は健康だと感じている区民の割合 指標説明 指標名 (2) 適正な食事内容を知っている人の割合（20歳以上） 指標説明 杉並区生活習慣行動調査による【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	411	1,200	401	1,000	350	600	35.0	82.7
活動指標 (2)	2 件	9	50	15	30	10	30	33.3	
成果指標 (1)	3 %	85.5	88.0	84.5	88.0	83.5	88.0	94.9	
成果指標 (2)	4 %	59.9	62	59.9	62	59.9	62	96.6	
事業費	5 千円	9,327	10,469	7,496	10,749	8,893	10,296	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	31,111	30,092	22,802	34,815	53,719	60,707	新型コロナウイルス感染症予防対策により、講習会や活動は人数や時間など規模を縮小して実施したことで、執行率及び事業費実績が減少しました。
	上記以外の職員	7 千円	5,369	5,805	6,615	5,880	6,253	5,811	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	45,807	46,366	36,913	51,444	68,865	76,814		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,765	3,495	2,605	3,680	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,765	3,495	2,605	3,680	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	43,042	42,871	34,308	47,764	68,865	76,814	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 315

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	食育の普及啓発イベントの実施	53	人	234
	健康づくり応援店を通じた食環境の整備	1,052	件	3,643
	歯と口腔の健康づくりの推進	5,677	人	1,409
	よい歯健口フェスティバルの開催	478	人	380
	その他 (地域健康づくり自主団体との協働 ほか)			3,227
取組成果	<p>親子を対象とした体験型の屋外イベントを実施し、子どもの食育の普及啓発を図りました。また、区内飲食店122件に健康づくり応援店事業の登録勸奨を行い、新たに10件のヘルシーメニュー店が増えました。</p> <p>歯と口腔の健康づくりでは、ライフステージに応じた普及啓発と健診データを活用した歯科疾患の重症化予防に取り組みました。また、関係団体との協働による「よい歯健口フェスティバル」を開催し、地域における健康づくりの推進に努めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>健康づくり応援店事業は、コロナ禍で飲食店の営業に負担がかかり、健康情報の掲示やヘルシーメニューの提供に取り組む余裕がない飲食店が増加している中、ヘルシーメニューが顧客の健康づくりに重要であることを啓発しながら登録勸奨を進めていくことが必要です。</p> <p>健康づくり自主グループ活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、各保健センターでの活動に制約を受けたことやメンバーの高齢化により活動が縮小傾向になっています。</p> <p>歯と口腔の健康づくりに関心が薄い区民も適切な情報が取得できるよう、ICT等の様々な媒体を活用した普及啓発をより一層取り組む必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>健康づくり応援店を増やすため、区内の飲食店に対してチラシの配布や訪問による登録勸奨を実施するほか、健康情報ポスターを作成してバランスの良い食事等について周知を図っています。</p> <p>健康づくり自主グループとの協働による講座等を10回実施するとともに、健康づくりリーダーの会と協働で健康づくり講座を2回実施することで区民の健康増進を図る予定です。また、各保健センターにおける健康講座・講演を13回実施する予定です。</p> <p>歯と口腔の健康づくりでは、子どもから高齢者までライフステージに応じた普及啓発と歯科疾患の重症化予防に取り組んでいます。よい歯健口フェスティバルの開催に向け運営検討会を行いました。</p> <p>予算については、年度末までに、ほぼ執行する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>健康に配慮した食事を提供するヘルシーメニュー登録店を増やしていくとともに、SNS等を通じて区民が気軽に情報を取得できるよう情報発信を工夫していきます。</p> <p>健康づくり自主グループ活動は、会員の高齢化等により登録グループは減少していますが、引き続き各グループの活動を区ホームページ (すぎなみ健康サイト) を活用して紹介するなど活動を支援していきます。</p> <p>歯と口腔の健康づくりについて区民の関心を高めるため、ICT等を活用した若い世代から切れ目のない普及啓発に取り組んでいきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>人生100年時代を自分らしく健やかに生きていくために、区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む環境を整備していく必要があります。そのため、ライフステージに応じた食育の推進や区民等との協働等による健康づくりに参加できる機会を確保し、食育活動と区民の健康度を向上する取組等を継続していきます。</p> <p>また、生涯を通じた歯と口腔の健康を保つために、ICT等を活用した普及啓発に引き続き取り組み歯と口腔の健康づくりの推進を図ります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00320)

事務事業名称	健康や栄養に関する指導・啓発			款	04	項	05	目	01	事業	016	整理番号	316
現担当課名	健康推進課		係名	健康推進係		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	314			
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 9年度												
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設 食品企業等	根拠法令等 (1) 健康増進法 (2) 食品表示法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設の栄養管理の向上を図り、給食を通じた喫食者の健康の維持増進を図る。 食品企業等から栄養表示について相談を受けたり、区民に向けて栄養表示の見方について普及啓発を行い、食品を購入する区民が健康への期待に誤認を招かないよう指導を行う。	活動指標 指標名 (1) 施設への巡回指導及び個別指導件数 指標説明 巡回及び来所等による個別の指導件数 指標名 (2) 講習会参加者数 指標説明 栄養管理者講習会及び栄養技術講習会の参加者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	給食施設から提出された開始届、変更届、廃止届等を受理し、区内給食施設を把握する。 栄養管理報告書に基づく施設指導を行う。 必要に応じて電話や巡回等で個別指導を行う。 栄養管理の課題解決に向けた講演会を実施する。 調理技術向上のための講習会を実施する。 特定給食施設の主体的な健康づくり活動とネットワークの推進による地域への普及活動を支援する。 食品企業への栄養表示に関する指導及び相談を行う。	成果指標 指標名 (1) 健康づくりの一環として給食が機能している給食施設の割合 指標説明 給食の位置付けに対して十分機能している給食施設数 ÷ 栄養管理報告書提出給食施設数【社会】 指標名 (2) 野菜の提供量が目標に達している施設の割合 指標説明 野菜の提供量が目標に達している施設数 ÷ 栄養管理報告書を提出した給食施設数【社会】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 施設	124	120	119	120	252	200	210.0	29.8
活動指標 (2)	2 人	38	150	114	150	44	150	29.3	
成果指標 (1)	3 %	78.0	90	80.3	90	80.7	90	89.7	
成果指標 (2)	4 %	38.6	80	39.9	80	35.9	80	44.9	
事業費	5 千円	262	486	273	457	136	466	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	4,337	3,401	7,092	6,674	7,153	9,982	新型コロナウイルス感染症の影響により給食施設では外部との接触を制限していることを考慮して講習会の実施や巡回指導を控え、電話による指導を増やした結果、執行率が低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	1,088	1,814	1,838	1,838	1,839	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	5,687	5,701	9,203	8,969	9,128	10,448		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	50	50	49	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	50	50	49	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	5,637	5,651	9,154	8,969	9,128	10,448	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 316

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	栄養管理者講習会の開催	1	回	42
	栄養管理報告書の受理と指導	475	件	49
	自主団体が行う学習・地域貢献イベントへの支援	14	回	0
	その他 (健康や栄養に関する表示の普及)			45
取組成果	給食施設では、新型コロナウイルス感染症予防対策のために職員の講習会参加など外部との接触を制限している施設が多いため講習会はオンラインにより実施するとともに、巡回指導も電話による施設の状況確認及び指導を行い、施設の栄養管理の向上に取り組みました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>オンラインによる講習会は、職場に居ながら講習会に参加できるなどのメリットがある一方、オンライン環境がない施設が参加できないため、施設間のコミュニケーションがとりづらいなどのデメリットもあることから、オンラインと対面型の両方を活用しながら実施していく必要があります。</p> <p>食品の栄養表示については、食品事業者への相談・指導のほか、一般区民の健康的な食生活の実践に向けて、栄養表示の見方と正しい活用方法について普及啓発を行っていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>給食施設対象の講習会を対面型とオンラインのハイブリット形式で実施し、昨年よりも多くの施設が参加され、施設間の情報交換も行うことができました。また、テーマ別に年4回の講習会を予定していますが、実習形式による開催など工夫しながら進めていきます。</p> <p>区民が食品の栄養表示を正しく理解できるよう、分かりやすいチラシを作製し、普及啓発を図ります。</p> <p>年度末における予算執行率は、100%近くになることが見込まれます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後も給食施設にとって、より参加しやすく学びやすい講習会を行うため、開催形式を工夫しながら実施していきます。また、多くの施設が情報交換と情報共有ができるよう給食施設を支援していきます。</p> <p>食品の栄養表示については、記載事項に間違いや違反がないように事業者支援を行うとともに、区民が栄養表示について正しく理解して自身の健康づくりに活用できるように、分かりやすいチラシを作製して食育イベント等で配布を行い、普及啓発を進めていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>予算は現状維持としつつ、施設にとってより学びやすい形式で講習会や個別指導を実施し、施設の主体的な栄養管理及び喫食者の健康づくりが推進できるように支援します。</p> <p>食品の栄養表示については、区民が健康づくりに生かせるように知識と活用について普及啓発を進めていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00321)

事務事業名称	がん検診			款	04	項	05	目	01	事業	017	整理番号	317
現担当課名	健康推進課		係名	健診係		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	315			
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和51年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	職場等で検診機会のない区民	根拠法令等	(1) 健康増進法第19条の2 (2) 杉並区がん検診実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	早期にがんを発見するとともに、検診により区民の健康意識を高める。 がんによる死亡率を減少させる。	活動指標	がん検診受診者数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	胃がん検診（胃部エックス線検査・胃内視鏡検査）を実施する。 子宮頸がん検診（頸部細胞診検査）を実施する。 肺がん検診（胸部エックス線検査）を実施する。 乳がん検診（マンモグラフィ）を実施する。 大腸がん検診（便潜血2日法）を実施する。	指標名（ 1 ）	要精密検査者数
		指標名（ 2 ）	
		成果指標	胃がん検診精密検査受診率
		指標説明	【行政】
		指標名（ 2 ）	肺がん検診精密検査受診率
		指標説明	【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	124,103	132,800	125,452	159,850	126,066	160,600	78.9	78.0
活動指標 (2)	2 人	5,423	8,000	5,248	5,500	5,133	5,500	93.3	
成果指標 (1)	3 %	86.5	90	90.0	90	95.7	90	106.3	
成果指標 (2)	4 %	72.7	90	81.7	90	78.9	90	87.7	
事業費	5 千円	641,469	897,626	697,450	898,962	700,837	891,925	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	30,271	22,633	23,455	22,324	23,781	26,444	がん検診はコロナ禍の影響で、受診者数が予算規模と比較して少なかったことにより執行残が多く生じました。
	上記以外の職員	7 千円	14,512	14,512	14,700	12,863	12,873	11,034	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	686,252	934,771	735,605	934,149	737,491	929,403		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,375	2,051	7,890	4,779	4,889	4,553	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,375	2,051	7,890	4,779	4,889	4,553	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	683,877	932,720	727,715	929,370	732,602	924,850	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 317

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	肺がん検診	52,130	人	200,327
	子宮頸がん検診	13,151	人	99,293
	乳がん検診	11,915	人	145,448
	胃がん検診 (胃部エックス線検査・胃内視鏡検査)	6,284	人	154,165
	その他 (大腸がん検診 (42,586人)・女性特有がん検診ほか)			101,604
取組成果	<p>がん検診の結果が「要精密検査」であった方の中で、一定期間経過しても精密検査の受診結果の報告がない場合、精密検査結果の未把握者及び未確定者の精密検査結果を把握するために、令和3年度に引き続き、検診実施機関又は受診者本人に対し、精密検査の受診状況調査や受診勧奨を行ったことにより、精密検査受診率の向上を図りました。</p> <p>胃がん検診 (胃内視鏡検査) は、検診実施機関数を令和3年度の22施設から24施設に拡充するとともに、定員を令和3年度の4,000人から1,500人増の5,500人に増やすことができました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>がん検診及び区民健診業務では、平成26年度に健診業務データ管理システムを導入し、この間、受診勧奨範囲の拡大や事務の効率化等に大きな効果がありました。今後は、国が設定した受診率の目標達成を目指し、従前からのシステムの活用による受診勧奨に加え、新たな視点で受診勧奨を推進していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>職場等で受診機会のない方を対象に胃・肺・大腸・子宮頸・乳の5つのがん検診を実施しています。令和5年度から、新たに、前年度に子宮頸がん検診を未受診の30歳から39歳の国民健康保険加入者の女性を対象に、子宮頸がん検診の受診勧奨を開始しました。</p> <p>予算執行については、受診者が増加し、執行率が上昇する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>国が設定した受診率の目標達成を目指し、受診勧奨を推進していきます。がんの発症が増加する世代に対して受診勧奨をし、新規受診者の増加と継続受診の動機付けを図ります。</p> <p>また、区広報、区ホームページへの掲載のほか、検診実施機関へのポスター掲示や区立施設でのリーフレットの配布に加え、ツイッター・フェイスブックなどのSNSを活用した啓発もしていきます。</p> <p>更に、がん検診の結果が「要精密検査」であった方の中で、一定期間経過しても精密検査の受診結果の報告がない場合などに、検診実施機関又は受診者本人に対し、追跡調査や再度の受診勧奨を行い、精密検査受診率を向上させる取組を継続していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>受診率の向上を目指し、更なる受診勧奨の強化に取り組んでいきます。</p> <p>また、国が主導しているシステム標準化が令和7年度に実施されるに当たり、令和6年度は、がん検診及び区民健診 (成人等健診、国保特定健診、後期高齢者健診) 等を管理する現行システムから標準システムへの移行がスムーズにできるように、移行に際しての課題の整理と方針の決定、新たなシステムの調達準備等の環境整備を進めていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00322)

事務事業名称	区民健康診査			款	04	項	05	目	01	事業	018	整理番号	318
現担当課名	健康推進課		係名	健診係		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	316			
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和58年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	02					
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	30歳～39歳で職場などで健診を受ける機会のない区民 40歳以上で医療保険に加入していない生活保護受給者等	根拠法令等 (1) 健康増進法第19条の2 (2) 杉並区区民健康診査等実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生活習慣病予防対策の一環として、糖尿病などの疾患の早期発見を図る。 定期的に健診を受けることにより、かかりつけ医を持つ。 生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得の動機付けをする。	活動指標 指標名 (1) 受診者数 指標説明 指標名 (2) 異常所見者数 (異常なし以外)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	基本検査 (問診・身体計測・理学的検査・血圧測定・血液検査・尿検査) を実施する。 詳細な健診 (貧血検査・心電図検査・眼底検査・血清クレアチニン検査) を実施する。 追加健診 (大腸がん検診・肝炎ウイルス検査) を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 受診率 (30歳～39歳) 指標説明 指標名 (2) 異常所見率 指標説明 異常所見者数 ÷ 受診者数 【社会】
		受診者数 ÷ (対象人口 × 対象人口率 0.351) 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 人	3,405	5,100	3,233	4,500	3,217	4,500	71.5	84.4			
活動指標 (2)	2 人	2,638	3,000	2,470	3,000	2,481	3,000	82.7				
成果指標 (1)	3 %	5.6	7	5.7	7	5.7	7	81.4				
成果指標 (2)	4 %	77.5	70	76.4	70	77.1	70	110.1				
事業費	5 千円	80,424	95,800	91,954	100,243	84,618	114,159	特記事項				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	9,438	9,485	9,719	9,335	9,946	13,473	区民健康診査はコロナ禍の影響で、受診者数が予算規模と比較して少なかったことにより執行残が多く生じた。			
	上記以外の職員	7 千円	5,442	5,442	5,513	4,410	4,414	3,678				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	95,304	110,727	107,186	113,988	98,978	131,310					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	32,186	31,891	36,041	35,725	32,108	40,817				
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	32,186	31,891	36,041	35,725	32,108	40,817				
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	63,118	78,836	71,145	78,263	66,870	90,493				

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 318

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	成人等健診	3,217	人	84,618
	その他 ()			
取組成果	30歳～39歳で職場等で健診を受ける機会のない方や40歳以上で生活保護受給者等に健診を実施し、疾患の早期発見に加え、健康な生活習慣獲得の動機付けや、かかりつけ医を持つことにつながります。受診者数は、コロナ禍による受診控えの影響から3,217人、そのうち30歳～39歳の受診者は1,732人となり、いずれも減少しました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	30歳～39歳までの対象者の適当な抽出方法がないため、積極的な受診勧奨を行うことができていません。今後は、新たな発想を取り入れ、受診率の向上を図っていく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和5年度から、30歳から39歳の国民健康保険加入者全員に、新たに受診勧奨を開始しました。これにより、受診者の増加が見込まれます。 予算執行については、受診者が増加し、執行率が上昇する見込みです。
事業の方向性・改善策	若い世代の人口の減少や、社会保険の適用範囲拡大など社会保険加入者が増加したことにより、30歳から39歳の国民健康保険対象者が減少していることから、受診者数も減少傾向にありました。令和5年度からは新たに、30歳から39歳の国民健康保険加入者全員に受診券を郵送する受診勧奨を開始し、受診者増に取り組んでいます。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>区民健康診査 (成人等健診) については、従来、本人の申出により受診券を発行していましたが、令和5年度から、30歳から39歳の国民健康保険加入者全員に本人の申出を待たず受診券を郵送することにしたことで、受診率の伸びが見込まれます。</p> <p>また、肝炎ウィルス検査についても、過去に受診したことのない方が希望により受診することができるため、受診者数の増加が見込まれます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00323)

事務事業名称	成人歯科健康診査				款	04	項	05	目	01	事業	019	整理番号	319	
現担当課名	健康推進課		係名	健診係		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	317					
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	02							
令和 4年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	該当年度に25・30・35・40・45・50・60・70歳になる区民	根拠法令等 (1) 健康増進法19条の2 (2) 杉並区成人歯科健康診査実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業を通じて、歯科疾患の発生と重症化を防ぐ。歯科健診を契機とすることにより、かかりつけ歯科医の定着を促進する。	活動指標 指標名 (1) 健診受診者数 指標説明 健診実績数 指標名 (2)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	対象の区民に対し受診券を送付し、指定歯科医療機関で歯科健診を実施する。健診内容は、問診・口腔内診査・健診結果に基づく保健指導とする。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 健診受診率 指標説明 【行政】 指標名 (2) 重症歯周病有病者率 (40歳) 指標説明 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	7,256	9,000	7,276	7,800	6,360	7,800	81.5	81.7
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	10.4	10.4	10.6	10.7	9.2	10.7	86.0	
成果指標 (2)	4 %	53.5	50	49.9	48	50.7	48	105.6	
事業費	5 千円	53,604	59,061	53,881	59,041	48,237	59,947	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	6,377	5,102	6,174	5,840	6,239	5,823	コロナ禍の影響で、令和3年度と比較して受診率が1.4%下降したことにより、事業費の執行残が多く生じました。
	上記以外の職員	7 千円	3,628	3,991	3,675	2,940	2,942	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	63,609	68,154	63,730	67,821	57,418	67,609		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	8,680	9,424	8,995	9,424	8,234	9,424	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	8,680	9,424	8,995	9,424	8,234	9,424	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	54,929	58,730	54,735	58,397	49,184	58,185	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 319

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	成人歯科健康診査		6,360	人
	後期高齢者医療制度非加入者分健康診査	9	人	69
	その他 ()			
取組成果	<p>成人歯科健康診査を実施し、受診対象者の歯科疾患の重症化予防とかかりつけ歯科医の定着の促進を図ることができました。受診対象者のうち、健康増進法に基づく対象40・50・60・70歳の受診者は3,040人、区独自事業の対象25・30・35・45歳の受診者は3,320人でした。また、令和4年度から世田谷区との相互の歯科健診を開始し、歯科健診を受診する区境住民の便宜を図ることができました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和3年度と比べて受診率が1.4%低下しましたが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えの可能性がります。</p> <p>引き続き、かかりつけ歯科医のいない対象者への受診勧奨とかかりつけ歯科医の重要性の啓発を図り、成人歯科健康診査の受診率の向上に努める必要があります。</p> <p>また歯周病の重症化予防については、健診データを活用した啓発を実施医療機関と連携して取り組む必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>成人歯科健康診査を実施し、対象者の歯科疾患の早期発見、重症化予防とかかりつけ歯科医の定着の促進に取り組んでいます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されたことにより、受診控えの解消が期待されるため、予算執行率は令和4年度より高くなるを見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>成人歯科健康診査については、対象者への受診勧奨を工夫するとともに、かかりつけ歯科医を持つことの意義を啓発することで、受診率の向上に努めていきます。</p> <p>また、国が規定する健康管理システムの標準化仕様書に準拠したシステムを導入することで、健診データを活用した歯周病の重症化予防に取り組むことが可能となります。</p> <p>国民皆歯科健診については、令和4年6月末に閣議決定された骨太の方針2022に導入に向けた検討を行うと記されており、国の動向を注視して対応していく必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>健診を受ける機会のない区民が、歯科疾患の予防のために、かかりつけ歯科医を持ち定期的に歯科健診を受けるきっかけとなるよう、引き続き成人歯科健康診査を実施していきます。</p> <p>現在、健康管理システムの標準化仕様書に対応するシステム改修の検討を進めています。</p> <p>また、健康管理システムの導入開始時期に合わせ、当該受診票を含む歯周病検診マニュアルの改定が国から示されており、今後その対応が必要です。</p> <p>骨太の方針で示された国民皆歯科健診の具体的な検討については、引き続き国の動向に注視していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00324)

事務事業名称	中高年者眼科検診	款	04	項	05	目	01	事業	020	整理番号	320
現担当課名	健康推進課	係名	健診係			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	318	
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成20年度										
令和 4年度担当課名	健康推進課	事業評価区分	一般								

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の区民	根拠法令等	(1) (2)	杉並区眼科検診事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	中高年者を対象に、緑内障や加齢黄斑変性の早期発見、早期治療を目的とする。 早期に発見し、適切な治療を受けることで、生涯にわたって目の健康に関心を持ってもらうことを目標とする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	受診者数 受診率 受診者数 ÷ 対象人数 × 100
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の区民に対し、受診券を郵送し、実施医療機関で検診を実施する。 検査項目は、問診、眼圧測定・眼底検査、細隙灯顕微鏡検査とする。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	緑内障の疑いのある人 精密検査が必要と判断された人数【社会】 加齢黄斑変性の疑いのある人 精密検査が必要と判断された人数【社会】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	8,144	7,900	7,493	8,200	7,778	8,200	94.9	94.3
活動指標 (2)	2 %	19.2	20.0	18.2	20.0	18.2	20.0	91.0	
成果指標 (1)	3 人	2,192	2,000	2,061	2,000	2,301	2,000	115.1	
成果指標 (2)	4 人	155	200	151	200	189	200	94.5	
事業費	5 千円	65,118	64,006	60,073	66,199	62,417	67,124	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,826	3,401	3,504	3,337	3,577	3,327	
	上記以外の職員	7 千円	1,814	1,814	1,838	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	70,758	69,221	65,415	71,374	67,833	72,290		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	70,758	69,221	65,415	71,374	67,833	72,290	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 320

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	中高年者眼科検診		7,778	人
	その他 ()			
取組成果	<p>中高年者を対象に眼科検診を実施し、7,778人に受診いただき、緑内障の疑いのある人2,301人、加齢黄斑変性の疑いのある人189人を発見することができました。また、目の病気を早期に発見し、早期に適切な治療を受けることで、目の健康に関心を持っていただくことができました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>受診率は、コロナ禍前から20%弱の数値で安定しています。更なる受診率の向上を図るとともに、この検診をきっかけに目の健康に関心を持ってもらえるよう取り組む必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の中高年の区民を対象に受診券を郵送し、医療機関で緑内障や加齢黄斑変性の早期発見、早期治療を目的とした検診の受診を勧奨しています。 令和5年度は、検診通知の封筒や同封物に受診の動機付けとなるような記載事項を追加する工夫をしました。 予算執行については、令和4年度と同様にほぼ執行する見込です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>緑内障や加齢黄斑変性は中高年に起こる代表的な目の病気で、特に緑内障は自覚症状がないことが多く、発見が遅れて失明に至ることもあります。視覚を失うと生活に支障を来すことから、高齢者の自立した生活を確保するため、目の健康に関心を持ってもらい目の病気の早期発見・早期治療を目的に今後も眼科検診を継続して実施していく必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>過去3年間の受診者は横ばい傾向にあるため、予算規模は現状維持することが適切であると考えます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00325)

事務事業名称	生活習慣病予防対策			款	04	項	05	目	01	事業	021	整理番号	321
現担当課名	健康推進課		係名	健康推進係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	319		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	02					
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	メタボリックシンドローム、糖尿病などの生活習慣病の該当者や予備群など区内在住・在勤者 健康づくりや生活習慣病予防に関心のある区民	根拠法令等 (1) 健康増進法 (2) 杉並区立保健センター健康増進教室実施要領
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生活習慣病の罹患割合の減少を図る。 健康的な生活習慣に取り組む区民を増やす。	活動指標 指標名 (1) 糖尿病ハイリスク者への啓発 指標説明 糖尿病予備群等への個別勧奨数 指標名 (2) 各教室への参加延べ人数 指標説明 保健センター健康増進教室に参加した延べ人数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ウェブサイトやパンフレット・教材等で生活習慣病の予防・改善の普及啓発を図る。 ○健康的な生活習慣の実践や生活習慣病予防に関する体験型の健康増進教室を実施する。	成果指標 指標名 (1) 主食・主菜・副菜をそろえた食事をとる人の割合 指標説明 杉並区生活習慣行動調査「毎日、主食・主菜・副菜をそろえて食べることが1日2回以上ある人の割合【社会】 指標名 (2) 65歳未満の運動習慣者の割合 指標説明 杉並区生活習慣行動調査「65歳未満で1回30分以上の運動を1年以上継続している者」【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	1,574	2,000	1,779	2,000	1,778	2,000	88.9	86.2
活動指標 (2)	2 人	311	1,400	699	1,000	727	1,000	72.7	
成果指標 (1)	3 %	50.0	80	50.0	80	50.0	80	62.5	
成果指標 (2)	4 %	33.7	24.3	33.7	44.5	33.7	44.5	75.7	
事業費	5 千円	1,848	5,467	2,216	4,779	4,120	5,955	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	39,296	43,968	35,136	37,530	10,228	10,310	COPD教室について新型コロナウイルス感染症の影響により肺年齢測定会を中止したことや糖尿病予防教室等の実施回数を減らしたため執行率が減少しました。
	上記以外の職員	7 千円	6,168	5,442	5,880	5,145	1,103	736	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	47,312	54,877	43,232	47,454	15,451	17,001		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	894	2,776	1,150	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	295	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	894	3,071	1,150	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	46,418	51,806	42,082	47,454	15,451	17,001	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 321

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	ウエストサイズ物語コーナー運営 (血圧計・体組成計修理、消耗品の購入)	21	か所	574
	糖尿病予防ハイリスク者への勧奨	1,778	人	168
	保健センター健康増進教室の実施	727	人	1,752
	糖尿病予防動画作成	3	本	1,427
	その他 (ウォーキングマップの作成)			199
取組成果	<p>ウエストサイズ物語コーナーでは自分で計測できる健康機器を21か所に設置しました。区民健診の結果から糖尿病予備軍の方を抽出し糖尿病発症リスクを回避できるようリーフレットを送付し、生活習慣病予防の普及啓発を図りました。保健センターにおける生活習慣病予防教室 (歯周病、骨粗しょう症、糖尿病等) を対面式のほか、オンラインも活用してより多くの方が参加できるよう取り組むとともに、区公式チャンネルを活用し「糖尿病について」や「糖尿病予防のための運動」の動画を配信し、区民がいつでも正しい知識が得られるよう予防のための運動習慣を促す環境を整えました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>平成26年7月に健康づくり推進条例が施行され、区、区民、関係機関、民間事業者が連携協力し、全体目標である「健康寿命の延伸」に向けて努力する必要があります。令和4年度健康日本21 (第二次) の評価による「生活習慣に関するもの」の指標は悪化・目標未達成が多く、目標項目では「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少」が悪化しています。引き続きメタボリックシンドロームなどの該当者を減らすことを指標として掲げ、生活習慣病の発症や重症化予防のための対策や、総合的な健康づくり施策の実施など幅広く事業を展開する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>内臓脂肪症候群対策 (メタボ対策) に、焦点を当て、生活習慣の改善に向けた啓発活動の拠点として、最大区内54か所に血圧計及び体組成計等を設置したウエストサイズ物語コーナーについては、生活習慣病予防の普及啓発全般について見直すこととし、その上で、区役所をはじめとする区内に6か所の健康スポットとして設置します。</p> <p>保健センターにおける生活習慣病予防教室 (歯周病、骨粗しょう症、糖尿病等) を対面式のほか、オンラインも活用してより多くの方が参加できるよう取り組むとともに、区公式チャンネルを活用し各講座の動画等を配信し、区民がいつでも正しい知識が得られ、予防のための生活習慣が身に着くよう環境を整えました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>健康スポットは、杉並区役所及び5保健センターの区内計6か所に血圧計を設置し、ポスター、チラシ等の掲示を行うことにより、生活習慣の改善に向けた体験型の啓発拠点として運営していきます。併せて、動画配信やSNSなどICTを活用して健康に関心の薄い方などが気軽にアクセスできる情報発信をしていきます。</p> <p>糖尿病対策として、健診データを活用し、糖尿病予備軍を中心に生活習慣改善に必要な情報提供を行うとともに、講座の開催や動画の配信により広く生活習慣病についての普及啓発をしていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>予算は現状維持としつつ、生活習慣病対策に向けて、引き続き健診データを活用した取り組みと講座やイベントの開催、健康スポットや動画の配信等により、多くの方が生活改善に関心を持つよう情報発信を行っていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00326)

事務事業名称	精神保健・難病対策			款	04	項	05	目	01	事業	022	整理番号	322
現担当課名	保健予防課		係名	保健予防係			連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	320		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和50年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	04					
令和 4年度担当課名	保健予防課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	精神障害者及びその家族、難病患者及びその家族、区民	根拠法令等 (1) (2)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	心に不調を感じた際に気軽に相談することで心の健康を保持し、区民がいきいきと暮らすことができる。自殺に追い込まれることのない社会を実現する。地域の関係機関が連携し、難病患者に療養支援を提供できる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	精神保健相談実施回数 (精神科医による精神保健相談) ゲートキーパー新規養成者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民向けの心の健康に関する相談や講演会を保健センターで実施する。杉並区自殺対策計画に基づき、関係各課と連携し対策を推進する。難病患者への療養相談を充実させるため、杉並区在宅医療推進連絡協議会で地域難病対策地域連絡会を開催する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人のこと。 精神保健相談実相談件数 精神科医及び保健師による精神保健相談【行政】 自殺死亡率 人口10万人に対する自殺者数【社会】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	161	160	162	160	160	160	100.0	84.3	
活動指標 (2)	2 人	192	150	173	150	244	150	162.7		
成果指標 (1)	3 件	3,405	3,800	3,996	3,800	3,789	3,800	99.7		
成果指標 (2)	4 人	12.7	13.3	14.5	13.0	0.0	12.5	0.0		
事業費	5 千円	15,018	26,778	21,804	18,849	15,886	18,647	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	189,491	204,627	192,038	201,446	195,648	225,141	新型コロナウイルス感染症対策のため、自殺予防月間講演会の実施規模を縮小又は中止したほか、人工呼吸器使用者の自家発電装置等の購入費用助成申請件数が少なかったことにより予算執行率が低下しました。	
	上記以外の職員	7 千円	39,436	31,527	33,259	33,553	28,247	24,238		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	243,945	262,932	247,101	253,848	239,781	268,026			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	11,465	9,768	9,826	12,080	12,029	11,913		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	11,465	9,768	9,826	12,080	12,029	11,913		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	232,480	253,164	237,275	241,768	227,752	256,113		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 322

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	精神保健に関する相談	160	回	2,641
	自殺予防月間関連取組	3	回	1,476
	心の健康づくりに関する講演会	6	回	252
	在宅人工呼吸器使用者への自家発電装置等購入費用助成	5	件	533
	その他 (自立支援医療受給者証等送付ほか)			10,984
取組成果	<p>精神科医や保健師による精神保健相談については、コロナ禍において生じた心の不調など様々な相談に対応することにより、精神障害の当事者や家族の方は、抱えている問題の解決が図られる一助となるなど状況の改善につながった方もいます。自殺対策に関する取組については、命の門番といわれるゲートキーパーの育成により、自殺に対する知識や地域の中で見守ることの重要性などを広めることができました。難病対策については、コロナ禍で中止となっていた研修を実施し、経験の浅い保健師や訪問看護師等が関係機関との連携の必要性を学ぶことができました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>心の健康づくりに関する取組の基本は相談対応力ですが、社会状況の変化等により複雑な相談が増えています。コロナ禍において、保健所・保健センターだけでは解決できない相談も多く、相談対応力の向上や関係機関との連携が課題となっています。</p> <p>自殺対策については、様々な機関が自殺対策を自分事として考え、協力・連携しながら進めていくことが重要です。関係機関との連携を深め、相互理解のもと対策を推進する体制の強化が課題となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>各保健センターで実施している精神保健相談については、計画通り実施しており、7月末時点で34回実施、延べ109人の方の相談に対応しています。</p> <p>自殺対策については、9月の自殺予防月間に向けポスターや普及啓発グッズの作成、ゲートキーパー養成講座応用編の準備等を計画通り進めています。</p> <p>人工呼吸器等使用者の自家発電装置助成事業については、年度当初に各保健センターへ対象者等の周知をしておりましたが、現時点で申請はありません。</p>
事業の方向性・改善策	<p>課題となっている相談対応力の向上については、事例検討会の開催や各センターで開催する新規ケースのレビュー、アウトリーチ所内会議を通して、若手職員へのアドバイスや気付きを促す場を設け取組を進めています。引き続き保健センターにおける相談対応力の向上の取組を進めます。</p> <p>自殺対策の推進については、関係機関との連携強化や推進体制の強化について、関係機関連絡会の運営を見直し、連携が円滑に図れるような体制づくりについて検討を進めていきます。</p> <p>在宅人工呼吸器使用者への自家発電装置等の購入費用助成制度については、対象者が限定されることから、実績に応じて予算規模の見直しを検討します。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>自殺対策については、第2次杉並区自殺対策計画の改定時に取組及び予算の見直しを行いました。次回計画改定までは、第2次計画に基づき継続した取組を推進します。</p> <p>在宅人工呼吸器使用者への自家発電装置等の購入費用助成事業については、制度の活用状況を分析した上で、適正な事業規模を算定します。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00327)

事務事業名称	受動喫煙等防止対策の推進				款	04	項	05	目	01	事業	023	整理番号	323	
現担当課名	健康推進課		係名	健康推進係		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	322					
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成17年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内事業者 一般区民	根拠法令等 (1) (2)	健康増進法の一部を改正する法律 東京都受動喫煙防止条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	望まない受動喫煙が生じないよう、受動喫煙に関する知識の普及、受動喫煙の防止に関する意識の啓発、受動喫煙の防止に必要な環境の整備等、受動喫煙防止対策を推進する。 20歳未満の区民に対し、飲酒・喫煙防止対策を推進する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	20歳未満の飲酒防止パンフレット配布数 20歳未満に飲酒防止を呼びかけるパンフレットを区立小学校6年生、中学校2年生全員に配布 子を持つ親への禁煙支援パンフレット配布数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	母親学級などの参加者に喫煙の健康影響に関する知識の普及啓発を行う。 改正健康増進法等の内容を、区内事業者や区民に周知・啓発する。 区立小・中学校や保健センター等で飲酒・喫煙防止パンフレット等の配布を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	母子健康バッグ配布等に、喫煙影響の資料と合わせて配布する。 中学生の喫煙経験がある割合 「未成年の飲酒・喫煙についての調査」より (令和2年度実施) 【社会】 成人の喫煙率 杉並区生活習慣行動調査より (令和2年度実施) 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	7,700	6,100	6,019	6,500	6,100	6,500	93.8	67.6	
活動指標 (2)	2 人	6,800	7,000	6,800	7,000	8,750	7,000	125.0		
成果指標 (1)	3 %	0.1	0	0.1	0	0.1	0	0.0		
成果指標 (2)	4 %	10.8	11.8	10.8	8.0	10.8	8.0	135.0		
事業費	5 千円	7,151	2,339	1,350	1,709	1,156	3,041	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,386	10,992	13,077	11,996	13,171	12,473	受動喫煙防止対策事業に関する巡回業務の委託入札で廉価であったため執行率が減少しました。 喫煙室の適合調査の実施がなかったため。	
	上記以外の職員	7 千円	1,088	1,088	368	368	368	368		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	20,625	14,419	14,795	14,073	14,695	15,882			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	6,683	1,167	790	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	6,683	1,167	790	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	13,942	13,252	14,005	14,073	14,695	15,882		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 323

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	受動喫煙防止対策事業に関する巡回業務	1,323	件	435
	20歳未満飲酒防止対策 (小学校6年生、中学2年生の教材配布)	6,300	人	132
	子を持つ親への禁煙支援	8,750	人	379
	新規開業飲食店への案内送付等	1,084	件	101
	その他 (禁煙外来マップ作成等)			109
取組成果	<p>令和3年度はコロナ禍により、飲食店等への分煙化等の啓発が十分に行えなかったため、区東部地域を中心に飲食店標識掲示の調査とともに周知啓発を図りました。さらに、新規開業した飲食店に対し、受動喫煙防止に関する取組の案内を通知し、受動喫煙防止対策を推進しました。</p> <p>また、区立小学校6年生・中学校2年生を対象にリーフレットを配布して20歳未満の飲酒と喫煙防止の啓発を図りました。子育て世代の家庭に向けても両親学級などの機会をとらえて喫煙や飲酒の健康被害の啓発を継続しています。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和2年度に続き飲食店喫煙状況の店頭標識掲示の調査では区東部を中心に、訪問調査と周知啓発を図りましたが、標識掲示率が約25%であったため、今後も広報などで広域に啓発を図るほか、区地域を3~4分割にし、継続的に巡回調査・啓発を行い、掲示率を増加させて行く必要があります。</p> <p>また、喫煙率は徐々に下がっているものの、さらに禁煙を支援するため、区民健診などのデータを活用し、個人への禁煙への啓発も進める必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>受動喫煙防止については、前年度に引き続き飲食店喫煙状況の店頭標識掲示調査では区西部を中心に、訪問調査と周知啓発を図っていきます。</p> <p>また、妊娠届や母親学級において、喫煙と健康への影響についてのリーフレットを配布するとともに、区民健診のデータを活用し、たばこを吸っていて禁煙を希望する方へ禁煙に関するリーフレットを送付することで、受動喫煙と禁煙についての啓発を図っていきます。</p> <p>令和5年度は、中学2年生と高校2年生を対象に、3年に1回の未成年の健康習慣に関する調査を行い、未成年の飲酒・喫煙状況の把握に努めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>受動喫煙防止対策においては、区内事業者や区民に向けて広報等の周知を行うほか、飲食店等における店の喫煙状況表示の周知徹底を図り、来店者が望まぬ受動喫煙をしないよう取組を更に進めていきます。</p> <p>成人の喫煙率は低下傾向にあるものの、下げ止まり傾向もあり、引き続き禁煙、受動喫煙防止の取組が必要です。未成年に対する「吸わない」支援と、喫煙している方への「禁煙・卒煙」の支援を継続して行く必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>予算は拡充方針とし、以下の取組を行います。</p> <p>飲食店喫煙状況の店頭標識掲示率の増加を図るため、巡回調査・啓発委託事業の強化を図っていきます。</p> <p>また、広報などで広域に啓発を図るほか、新規開店した飲食店への周知・啓発を行い、飲食店等における受動喫煙防止の徹底と店頭標識掲示率の増加を図っていきます。</p> <p>未成年の飲酒・喫煙防止の周知・啓発について、引き続き関連部署との連携を図りながら効果的な手法を検討していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00330)

事務事業名称	がん対策の推進			款	04	項	05	目	01	事業	026	整理番号	326
現担当課名	健康推進課		係名	健康推進課		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	325			
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成25年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	03					
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	主に就学以降の区民	根拠法令等 (1) (2)	がん対策基本法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	がん予防知識の普及啓発を図り、がん予防に対する正しい知識と実践に取り組む区民を増加させる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	普及啓発講演会の参加人数 がん予防などに関する講演会の参加人数 口腔がん等のリーフレットによる普及啓発 口腔がん等の希少がんの周知リーフレットの作成配布
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	がん予防に対する正しい知識と実践に関して講演会やリーフレット、広報等での普及啓発を行う。ポスター、チラシ、イベント等を通じて1日5皿 (350g) の野菜摂取等、がん予防につながる食生活の普及を図る。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	成人の喫煙率 生活習慣行動調査 (3年に1度実施) 【社会】 野菜料理を1日5皿 (350g) 以上摂取する区民の割合 生活習慣行動調査 (3年に1度実施) 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 人	0	350	0	350	443	350	126.6	98.5
活動指標 (2)	2 枚	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	100.0	
成果指標 (1)	3 %	10.8	11.8	10.8	8.0	10.8	8.0	135.0	
成果指標 (2)	4 %	5.7	20	5.7	15	5.7	15	38.0	
事業費	5 千円	576	600	540	524	516	524	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,977	4,743	5,017	4,668	5,090	4,657	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	4,553	5,343	5,557	5,192	5,606	5,181		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	184	300	269	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	184	300	269	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	4,369	5,043	5,288	5,192	5,606	5,181	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 326

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	がん治療と就労の両立支援セミナー業務委託	1	件	216
	口腔がん予防リーフレットの配布	4,000	部	99
	がん予防講演会の実施	2	回	81
	がん予防パンフレットの配布	3,000	冊	120
	その他 ()			
取組成果	<p>感染症対策を実施したうえで、がん予防の運動と食事をテーマとした講演会を3年ぶりに開催したところ、早々に定員に達し、多くの区民の参加がありました。また、歯科医院等にリーフレットを配布し、口腔がんの予防啓発を図りました。</p> <p>がんになった時ががん治療と仕事を両立するための動画を配信するとともに、オンラインセミナーも開催し、当日参加できなかった方向けに一定期間アーカイブ配信も行い、両立支援を行いました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>感染症対策を実施したうえでがん予防講演会を実施したところ、募集後早期に定員に達したことから区民のがん予防への関心の高さを感じるとともに、講演会では多くの質問もありました。</p> <p>また、2人に1人ががんになる時代では働き盛りの年代の治療について、がん治療と仕事の両立支援は、職場でのがん患者への配慮が必要で、今後企業の理解を勧める必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>がんの正しい知識を区民に周知するため「がん予防の食事」と「働く世代のがんとの付き合い方」をテーマに2回の講座を実施します。「働く世代」をテーマとした講座では、がん患者本人や職場の方の体験談を盛り込み、職場でのがん患者への理解・配慮がすすむような内容で実施します。</p> <p>また、歯科医院等を対象に、口腔がんに関するリーフレットを配布するなど予防啓発の活動を行います。</p>
事業の方向性・改善策	<p>がん予防のためには、がん検診の受診とともにがんを正しく理解し、がんを予防する生活習慣を身に付けることが大切です。より多くの区民への生活習慣の改善を促していくため、講演会のほか動画等によりアーカイブ配信など区民がより気軽にアクセスできる環境を整備していきます。また、勤労世代の方のがん罹患による問題に対応するため、治療と就労の両立についての講座は企業への参加を呼びかけオンラインを活用するなど、働く方も参加しやすい形で行っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>予算は現状維持としつつ、がん一次予防のための生活習慣改善についての普及啓発と、早期発見のためのがん検診を受診するよう呼びかけていきます。また、働きながら治療する「両立支援」に関する普及啓発等、がんを取り巻く実用性の高い最新情報の発信に取り組んでいきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00661)

事務事業名称	健康づくり推進活動			款	04	項	05	目	01	事業	027	整理番号	327
現担当課名	健康推進課		係名	健康推進係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	326		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業						
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民 杉並区健康づくり推進協議会委員 保健所関係団体 等	根拠法令等 (1) 健康増進法 (2) 杉並区健康づくり推進条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	すべての区民が生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせる健康長寿の地域社会の実現を図る。	活動指標 指標名 (1) 生活習慣行動調査実施者数 指標説明 杉並区生活習慣行動調査による。(区民の生活習慣・行動の状況を詳細に把握するための調査) 指標名 (2) 杉並区健康づくり推進協議会実施回数 指標説明
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民が安心して健やかに暮らせるまちの実現に向けて、その評価基準となりうる健康都市指標を作成するため杉並区生活習慣行動調査を実施する。健康づくりに関する施策の実施に関して必要な事項の調査審議を行うため、杉並区健康づくり推進協議会を開催する。運動、栄養、女性の健康等のテーマで健康づくり教室・イベントを実施する。関係団体と協力して、献血、骨髄バンクドナー登録、熱中症予防などの活動を行う。	成果指標 指標名 (1) 生活習慣行動調査回答者数 指標説明 杉並区生活習慣行動調査による。(区民の生活習慣・行動の状況を詳細に把握するための調査)【行政】 指標名 (2) 庁内献血者数 指標説明 日本赤十字社が区役所内で実施する献血の提供者者数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	3,000	100.0	93.4
活動指標 (2)	2 回	1	2	2	2	2	2	100.0	
成果指標 (1)	3 人	1,291	1,250	1,291	1,250	1,291	1,500	103.3	
成果指標 (2)	4 人	149	200	176	200	204	200	102.0	
事業費	5 千円	5,932	6,831	3,929	5,918	5,530	9,411	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,575	7,065	13,577	12,830	14,419	17,796	
	上記以外の職員	7 千円	2,177	2,177	2,573	1,838	1,839	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	20,684	16,073	20,079	20,586	21,788	28,310		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	819	1,926	313	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	819	1,926	313	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	19,865	14,147	19,766	20,586	21,788	28,310	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 327

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	歩数測定アプリ活用事業委託	1	件	2,400
	健康づくり推進協議会の開催	2	回	514
	健康づくり教室・イベントの実施	481	人	1,066
	骨髄提供者等助成	7	件	840
	その他 (熱中症予防の普及啓発等)			710
取組成果	<p>区民、学識経験者等で構成する杉並区健康づくり推進協議会を2回開催し、杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく身体等の健康等の目標値に対する達成状況の評価するとともに、杉並区健康医療計画案について意見を聴取しました。また、性別・年齢を拡大し、ウォーキング等の運動を中心とした教室を15回実施するとともに、女性の健康週間に当たり骨密度測定とパネル展示等を行い、区民の健康づくりの推進を図りました。庁内献血会は、ツイッターなどの周知方法を拡充したことにより、多くの方から献血の提供につながりました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区ではすべての区民が生涯にわたり健やかでいきいきと暮らせる健康長寿の地域社会を目指し、区民、事業者、関係団体及び区が協働し健康づくりを推進するために杉並区健康づくり推進条例を平成26年度に策定しました。これに伴い、本条例に規定している杉並区健康づくり推進協議会の開催や健康づくりに関する目標・指標を設定し公表しています。</p> <p>また、区民がいきいきと暮らせる健康づくりを推進するために、区民の生活習慣・行動の状況を詳細に把握することを目的として、杉並区生活習慣行動調査を3年に1度実施しています。</p> <p>各教室については、令和4年度から対面式の教室を再開しました。今後はオンライン形式の教室と効果的に実施していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>健康づくりに関する目標・指標については、これまでの取組の評価を公表するとともに、令和12 (2030) 年度までの新たな目標値を杉並区健康医療計画において公表しました。</p> <p>3年に1度実施している杉並区生活習慣行動調査について、調査票を無作為抽出の区民3,000人に対し送付し、年内に調査結果をまとめ、今後の健康づくりの各種取組に活かします。</p> <p>各教室について、より多くの方が参加できるよう、対象にあわせて対面式やオンライン形式で実施します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並区健康づくり推進協議会を開催して、杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく身体や心の健康等各分野の目標値に対する現状値を報告するとともに、各分野の取組等を審議し、その審議内容を尊重し、各分野における取組に反映していきます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響による生活習慣の変化を踏まえた健康づくりが必要で、特に「継続的に運動をする」「バランスの良い食事をとる」などの生活習慣改善のための普及啓発と、区民が活動しやすい環境を整備することが重要です。健康に関心が薄い者を含む幅広い世代に向け、ICTを活用しながら効果的な普及啓発を図っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>予算は現状維持としつつ、以下の取組を進めます。</p> <p>健康づくりの推進においては、科学的根拠に基づく健康づくりに関する情報の発信や身近な地域で様々な健康づくりの活動が行えるよう、環境整備を進めていきます。ICTを活用した講座や普及啓発活動などの取組を進めるとともに、歩数測定アプリ活用事業を中心に一人でも気軽にはじめられる運動として「歩く」「自転車に乗る」ことの普及啓発を図っていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00342)

事務事業名称	大気汚染被害対策			款	04	項	05	目	04	事業	001	整理番号	339
現担当課名	保健予防課		係名	保健予防係		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	338			
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和47年度												
令和 4年度担当課名	保健予防課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	気管支ぜん息等にかかっている区民	根拠法令等	(1) (2)	大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例 杉並区大気汚染障害者認定審査会条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	医療費を助成することにより、健康障害の救済を図る。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	新規・更新申請者数 区内認定者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民からの申請を受け、審査により大気汚染にかかる健康障害者と認定された方への医療費の助成を行う。 アレルギーや気管支ぜん息等について予防方法等に関する普及啓発を行う。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	大気汚染医療費助成認定者対前年度比 今年度認定者数 ÷ 前年度認定者数【行政】 大気汚染医療費助成認定率 当該年度の認定者数 ÷ 当該年度の申請者数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	884	1,000	940	1,000	793	900	79.3	84.2
活動指標 (2)	2 人	1,958	2,100	1,826	2,000	1,702	1,800	85.1	
成果指標 (1)	3 %	91.5	100	93.3	100	93.2	100	93.2	
成果指標 (2)	4 %	100	100	100	100	100	100	100.0	
事業費	5 千円	4,224	5,323	4,515	5,325	4,483	5,459	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,673	8,163	8,009	8,009	10,065	11,560	新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に引き続きぜん息等に関する講演会を中止したため、予算執行率が低下しました。
	上記以外の職員	7 千円	2,540	2,177	2,573	1,838	2,207	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	15,437	15,663	15,097	15,172	16,755	18,122		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	3,534	4,305	4,190	4,307	3,903	4,571	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	3,534	4,305	4,190	4,307	3,903	4,571	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	11,903	11,358	10,907	10,865	12,852	13,551	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 339

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	大気汚染に関する医療費助成事務	793	人	562
	アレルギー相談	120	人	3,914
	その他 (光化学スモッグ被害予防対策周知)			7
取組成果	気管支ぜん息等の疾病にかかった18歳未満の区民からの大気汚染に係る健康障害者認定申請の審査等を実施しました。また、当該健康障害者認定者に対し医療費助成を行い、健康被害の救済を図るとともに、疾病の治療に要する自己負担額を軽減することができました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>昭和47年10月から大気汚染に係る年少者の健康被害について重症化予防のため医療費助成を開始し、現在は満18歳未満のみが新規申請できる制度となっています。平成30年4月から医療費の一部自己負担とする制度改正や区条例による乳幼児及び義務教育就学児医療費助成の利用により、新規認定更新者数は令和3年度が940人、令和4年度は793人と減少傾向にあることから、利用拡大に向けて東京都と連携して制度周知を図る必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年8月時点の大気汚染医療費助成更新者は約350人で、令和4年度より約200人増加しています。医療券 (受給者証) の有効期限が交付から2年間であり、令和4年度と比較して令和5年度の更新者が多いことが対象者が増加した要因です。引き続き、更新が必要な方へ更新申請手続きの案内を遺漏なく行うとともに、適切な認定審査の実施と認定後の医療券の速やかな送付を行っていきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>本事業は気管支ぜん息等の治療に要した医療費のうち、保険適用後の自己負担額を助成する東京都独自の医療費助成制度です。医療費の一部自己負担制度の導入や子どもの医療費助成の利用により、本制度の申請者は減少傾向にあります。また、満18歳以上の認定者は定められた期間内に更新手続きを行わないと失効し、再認定が受けられない制度となっています。</p> <p>医療費助成を必要とする方が適切な支援を受けられるよう更新手続きの案内を関係機関と連携して実施してまいります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>東京都が平成27年度に18歳未満の方のみが新規申請できる制度に改正したことや、子どもの医療費助成制度を利用することが一般化していることなどが影響して、申請者数は減少していく傾向にあるため、事業コストについても減少となる見込みです。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00346)

事務事業名称	保健所等施設の維持管理			款	04	項	05	目	06	事業	001	整理番号	343
現担当課名	健康推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	342		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度												
令和 4年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 保健所及び保健医療センター利用者	根拠法令等 (1) (2)	地域保健法・同施行令・同施行規則 杉並区保健所設置条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設及び環境を安全で快適な状態にする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 保健所及び保健医療センターの庁舎管理、設備保守管理、備品管理を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								75.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	103,643	145,781	127,044	154,575	117,144	322,042	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	7,568	5,952	5,590	9,177	11,063	11,063	執行残の理由 新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、光熱水費及び電話料が多かかると予想されたことから減額補正をしませんでした。また、建物総合管理委託契約の落差金額が大きかったことも理由に挙げられます。
	上記以外の職員	7 千円	1,088	1,088	1,103	1,103	1,103	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	112,299	152,821	133,737	164,855	129,310	334,208		
財源	受益者負担分	9 千円	472	397	387	52	101	78	
	国・都からの補助金	10 千円	3,814	0	19,419	0	489	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,286	397	19,806	52	590	78	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	108,013	152,424	113,931	164,803	128,720	334,130	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 343

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	建物総合管理委託	1	所	30,579
	光熱水費 (電気・ガス・水道・電話) の支出	1	所	45,169
	機械設備保守点検業務委託	1	所	18,700
	画像診断システムの保守委託等 (保健予防課)	4	件	1,965
	その他 (委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)			20,731
取組成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに保健所及び保健医療センターの機能を低下させないよう、施設の維持管理と老朽化や天災等による不具合へ適切に対応しました。</p> <p>また、区民・区内団体の声を受け、保健所5階の誰でもトイレ内にユニバーサルシートを設置し、バリアフリー化を促進しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>日常で発生する施設の不具合対応や各種点検に加えて、施設利用者の声を踏まえながら、年度内の点字ブロック増設に向けた調整を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するよう、対策本部として運用した運動室を原状回復させるなど、保健所業務に必要な環境を整備しました。</p> <p>大規模な設備の老朽化対応に関して、令和5年度から中長期修繕計画の工事が始まり、今年度は自家発電設備オーバーホール、電気関係設計委託、冷温水発生機取替その他工事について、年度末までに着実に整備ができるよう、工事業者や関係団体との調整を図りながら進めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>保健所の適切な維持管理を行い、区民の命と健康を守る取組に必要な執務環境を確実に確保する必要があることから、利用者及び職員等が安心して施設を利用できるよう、施設の老朽化や天災等による不具合への適時適切な対応を行い、施設の適切な維持管理及び中長期修繕を計画的に実施します。令和6年度は、杉並保健所内各課及び関係団体の業務に与える支障を可能な限り最小限にできるよう連携を図りながら、全館照明設備更新や個別空調設備更新等に対応していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>保健所は竣工から23年が経過し、施設の至るところで老朽化等による不具合が発生しています。令和6年度については、防火シャッターの電装部分の更新時期を迎えていることから、段階的に修理を行っていきます。その他にも優先度の高いものから修理していきませんが、対応すべき箇所が年を追うごとに累積していることから、施設の安定的な維持管理のために修理費を増やさざるを得ず、コストが増える状況です。</p> <p>中長期修繕に関しては、全館照明設備更新や個別空調設備更新等に対応するため、前年度と同程度の工事費が見込まれますが、照明のLED化や空調設備の更新を行うことにより電気代の削減につながっていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00692)

事務事業名称	保健センターの維持管理			款	04	項	05	目	06	事業	009	整理番号	345
現担当課名	保健サービス課		係名	管理係			連絡先電話番号	4526		昨年度整理番号	344		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和50年度												
令和 4年度担当課名	保健サービス課			事業評価区分	施設維持管理								

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	健康相談、健診等の保健センター利用者	根拠法令等	(1) 地域保健法、同施行令、同施行規則 (2) 杉並区立保健センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	荻窪・高井戸・高円寺・上井草・和泉保健センター施設設備の適正な維持管理を行い、保健センター利用者に安全で快適な施設環境を提供する。	活動指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設設備及び機器等の管理・保守点検等を定期的 に実施し、必要に応じて修繕等を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 (1)	1								93.8	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	46,928	52,624	49,095	60,540	56,795	66,112	特記事項 修理・修繕費の増に加え、光熱費の高騰により、事業費が増加しました。		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	69,302	69,507	66,599	58,582	67,710			65,356
	上記以外の職員	7 千円	8,997	7,256	8,012	6,615	10,298			8,092
総事業費 (5+6+7)	8 千円	125,227	129,387	123,706	125,737	134,803	139,560			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	125,227	129,387	123,706	125,737	134,803	139,560			

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 345

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託		4	所
	光熱水費の支出	4	所	12,332
	修繕	27	件	3,802
	機器賃貸借	5	所	1,204
	その他 (電話料、医療関係廃棄物回収処理委託ほか)			11,893
取組成果	施設設備の保守点検を定期的実施するとともに、建物等の修繕にも迅速に対応し、健診や健康相談等で保健センターに来所した区民が施設等を安全に利用できるよう維持管理を行いました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	施設設備の保守点検を計画通りに実施し、建物等の修繕も迅速に対応しています。健診や健康相談等で保健センターに来所した区民が施設等を安全に利用できるように維持管理を行っています。 光熱水費の高騰については、予算の増額により対応していますが、空調設備等の修繕費用が突発的に発生することもあり、今年度の予算をほぼ使い切っているセンターもあります。保健サービス課内で調整しながら対応していきます。
事業の方向性・改善策	施設はもとより医療機器等の老朽化が一層顕著になってきています。関係部署とも連携しながら計画的な更新・修繕等を行い、引き続き区民が施設等を安全に利用できるように維持管理を行います。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	医療機器の老朽化に加え、10年に一度の電話設備のライセンスの更新が必要な保健センター (2 か所) や、電話交換機のメーカー修理対応期間が過ぎる等の設備維持管理にかかるコストの増加が見込まれます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00587)

事務事業名称	国民健康保険保健事業			款	05	項	01	目	01	事業	001	整理番号	567
現担当課名	国保年金課		係名	医療費適正化担当			連絡先電話番号	1276		昨年度整理番号	563		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和44年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業						
令和 4年度担当課名	国保年金課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	国民健康保険被保険者	根拠法令等	(1) (2)	国民健康保険法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	データヘルス計画に基づく事業を実施し、被保険者の健康増進と医療費適正化を推進する。	活動指標	指標名 (1)	後発医薬品差額通知発送回数
		指標説明	指標名 (2)	医療費通知発送回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	年2回、11月と2月に医療費通知を郵送する。 年3回、7月と10月と2月に後発医薬品差額通知を郵送する。 データヘルス計画に基づく事業を実施する。	指標説明	成果指標	後発医薬品普及率
		指標説明	指標名 (1)	後発医薬品の数量 ÷ (代替可能先発品の数量 + 後発医薬品の数量) 【社会】
		指標説明	指標名 (2)	
		指標説明		

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	3	3	3	3	3	3	100.0	92.9
活動指標 (2)	2 回	2	2	2	2	2	2	100.0	
成果指標 (1)	3 %	71.3	80	71.3	80	73.3	80	91.6	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	30,427	41,785	32,534	59,879	55,640	50,265	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	10,664	10,664	10,982	13,349	11,728	11,728	生活習慣病予防事業の対象者数を、2,000人から20,000人に増やしたことにより、事業費が増額しました。
	上記以外の職員	7 千円	2,540	2,540	2,573	2,573	2,575	2,575	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	43,631	54,989	46,089	75,801	69,943	64,568		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	24,380	19,820	25,882	46,026	38,471	37,887	
	その他の補助金等	11 千円	6,047	0	6,651	13,853	17,168	12,378	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	30,427	19,820	32,533	59,879	55,639	50,265	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	13,204	35,169	13,556	15,922	14,304	14,303	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 567

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	医療費通知発送		137,134	件
	後発医薬品差額通知発送	25,468	件	1,881
	データヘルス計画事業の実施 (重症化予防事業・生活習慣病予防事業)			41,402
	その他 ()			
取組成果	<p>医療費通知発送を11月と2月の2回、合計137,134世帯に送付しました。後発医薬品差額通知を7月、10月、2月の3回、合計25,468件送付しました。また糖尿病腎症重症化予防プログラムを30名に実施、生活習慣病予防のための自発的な生活習慣の改善を促すためのアドバイスシートを20,000名に送付、健康づくりを支援するインセンティブ事業「すぎこく健康チャレンジ」に1,498名が参加しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>医療費通知は昭和57年度から実施し、平成30年度からは通知対象の月数を拡大しました。後発医薬品差額通知は平成25年度から実施しています。ジェネリック医薬品の普及率について、国は令和5年度末までに全ての都道府県で80%以上とする数量シェア目標を定め、区においても目標を80%としています。</p> <p>平成27年度からは医療費の適正化にむけて、生活習慣病の発症予防や重症化予防等の事業を効果的かつ効率的に実施するためのデータヘルス計画 (第一期：平成27年度から平成29年度、第二期：平成30年度から令和5年度) を策定しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和3年10月からはオンライン資格確認システムが稼働し、薬局の窓口において重複投薬等の解消を提案できるようになりました。</p> <p>データヘルス計画の目的である健康寿命の延伸及び医療費の適正化を進めるために、生活習慣病に対する知識や生活習慣病の予防のための意識づくり、生活習慣病の早期発見・早期治療へのアプローチ、服薬に関する正しい知識と改善を進める必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>後発医薬品差額通知発送回数、医療費通知発送回数は、計画のとおり実施しました。</p> <p>後発医薬品普及率の計画は80%でしたが、実績は71.3% (令和3年3月審査分) でした。また、生活習慣病重症化予防事業として医療機関受診勧奨、糖尿病重症化予防事業、適正な受診・服薬の勧奨事業、健康づくり事業等を実施しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和3年度はジェネリック医薬品の普及率80%に向けた取り組みとして、後発医薬品差額通知とジェネリック医薬品希望カードを配布し、後発医薬品の普及率を若干高めることができました。</p> <p>保健事業につきましては、引き続き重症化予防事業、服薬適正化事業、生活習慣病予防・生活習慣の改善などの啓発事業を実施します。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>第三期データヘルス計画・第四期特定健康診査等実施計画 (令和6～11年度) に基づき、効果的・効率的な事業への見直しを進めます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00588)

事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業				款	05	項	02	目	01	事業	001	整理番号	568
現担当課名	国保年金課		係名	医療費適正化担当係		連絡先電話番号	1276		事業	1276		整理番号	564	
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成20年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業							
令和 4年度担当課名	国保年金課								事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並区国民健康保険の加入者で40歳～74歳の方	根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律第20、24条 (2) 国民健康保険法第82条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	特定健康診査の実施結果により、生活習慣病発症のリスクが高いと判定された被保険者に、生活習慣改善を目的とした特定保健指導を行うことで、糖尿病等生活習慣病の発症を予防することを目標とする。	活動指標	特定健康診査受診件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	対象者に対して、特定健康診査を実施する。特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった方に指導を実施する。	指標名 (1)	特定健康診査受診件数
		指標名 (2)	特定保健指導実利用者数
成果指標	特定健康診査実施率	指標名 (1)	特定健康診査実施率
		指標説明	特定健康診査受診件数 ÷ 特定健康診査受診券発行件数【社会】
		指標名 (2)	特定保健指導対象者割合の減少率 (平成20年度比)
指標説明	該当年度の特定健診受診者で特定保健指導対象者となった者の割合を平成20年度と比較した減少率【社会】		

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	32,548	45,000	32,923	45,000	32,154	45,000	71.5	87.4
活動指標 (2)	2 人	310	750	238	600	123	600	20.5	
成果指標 (1)	3 %	38.7	56	38.4	58	37.5	60	64.7	
成果指標 (2)	4 %	25.5	26.0	29.8	26.0	25.5	26.0	98.1	
事業費	5 千円	446,834	492,840	447,258	501,646	438,456	595,343	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	4,072	7,915	7,824	8,839	4,991	4,991	コロナ前の健診受診者数を見込んでおりましたが、健診受診の回復がみられなかったことにより、執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	1,088	3,265	3,308	3,308	1,103	1,103	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	451,994	504,020	458,390	513,793	444,550	601,437		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	138,860	275,111	132,268	121,712	121,712	240,039	
	その他の補助金等	11 千円	238,544	61,218	248,856	317,688	255,887	293,058	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	377,404	336,329	381,124	439,400	377,599	533,097	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	74,590	167,691	77,266	74,393	66,951	68,340	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 568

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	特定健康診査	32,154	件	402,854
	特定保健指導	123	件	8,115
	特定健診・特定保健指導負担金の支出			9,852
	健診データ管理事務ほか			17,635
	その他 ()			
取組成果	<p>特定健康診査の受診券を85,707件送付し、未受診者に対しては40歳到達者及び41歳から74歳の前年度未受診者に年代別、性別に応じた受診勧奨はがきを38,887件送付しました。</p> <p>特定保健指導の該当者には特定保健指導利用券を2,659件送付し、未利用者に対しては電話での利用勧奨を2,256件実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>特定健康診査は平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、従前の「老人保健法」により健康推進課で実施していた区民健診（誕生月健診）に代わって開始された事業です。</p> <p>平成30年度からは健診の制度改正により、詳細な健診項目の実施基準を国基準に合わせた見直しを行ない、令和3年10月からはオンライン資格確認システムの稼働により、健診機関で特定健康診査の記録を確認できる等の利便性が向上しました。</p> <p>令和6年度以降は、特定健康診査における生活状況の質問項目の見直しや特定保健指導のアウトカム評価の実施などの制度改正が予定されています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和4年度の特定健康診査及び特定保健指導の受診率・利用率は、コロナの影響により低下していた状況からの回復傾向がみられますが、コロナ前の水準には届かないことが見込まれます。コロナによる受診控え等の影響は少なくなっていますが、健診受診が途切れたことにより健診受診の意識の低下につながっていることが想定されます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>特定保健指導においてはインターネットを利用した面談を行う等の、利用しやすい事業を実施しました。また、新型コロナウイルスによる運動習慣や食習慣等の生活スタイルの変化に伴い、生活習慣病のリスクが高まっていることが想定されることから、健康状態の確認や生活習慣病の早期発見のための健診の必要性や意識の向上を図るための健診受診勧奨や特定保健指導未利用者勧奨を実施しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>特定保健指導においては、引き続きICTを活用した利用しやすい環境を提供するとともに、特定健康診査の未受診者、特定保健指導の未利用者に対しては、健診や生活習慣改善の必要性等の啓発や通知による勧奨事業を実施します。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>第三期データヘルス計画・第四期特定健康診査等実施計画 (令和6～11年度)に基づき、効果的・効率的な事業への見直しを進めます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00608)

事務事業名称	一般介護予防事業			款	04	項	01	目	02	事業	001	整理番号	591
現担当課名	高齢者在宅支援課		係名	日常生活支援事業係			連絡先電話番号	3222		昨年度整理番号	587		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 4年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	65歳以上の高齢者	根拠法令等	(1) 介護保険法 (2) 地域支援事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	地域において自主的な介護予防活動や住民主体の通いの場が充実し、高齢者が積極的にこれらの活動に参加しまた役割を担い、要介護状態等になることを予防するとともに、地域の中で自分らしくいきいきと暮らし続けることができるようになる。	活動指標	一般介護予防事業参加者延べ人数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するために、講演会や介護予防事業（認知症予防教室、足腰げんき教室等）を実施する。 地域の自主グループ活動の支援や介護予防活動の担い手としてボランティアの育成を行う。 介護予防に取り組む地域づくりを通して、住民が主体となった介護予防活動を推進する。 高齢者活動実態調査を行う。	指標説明	ボランティア登録者数
		成果指標	一般介護予防事業への参加率
		指標説明	参加者延べ人数 ÷ 65歳以上高齢者数【行政】
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	5,341	28,338	13,975	28,338	18,095	28,338	63.9	89.8	
活動指標 (2)	2 人	106	120	102	100	88	100	88.0		
成果指標 (1)	3 %	4.3	23.6	11.6	23.6	15.1	23.6	64.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	43,483	66,177	56,379	78,071	70,130	65,570	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	33,216	38,719	41,233	27,161	28,270	26,925	令和4年度から保健サービス課分の職員が1名欠員となっています。	
	上記以外の職員	7 千円	11,065	11,247	10,474	10,290	10,298	10,298		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	87,764	116,143	108,086	115,522	108,698	102,793			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	16,233	36,432	32,995	33,162	30,822	24,210		
	その他の補助金等	11 千円	19,366	27,408	23,382	32,834	29,664	27,984		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	35,599	63,840	56,377	65,996	60,486	52,194		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	52,165	52,303	51,709	49,526	48,212	50,599		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 591

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	介護予防・認知症予防普及啓発 (教室・講演会) 等の開催	228	回	12,705
	地域介護予防活動支援 (わがまち一番体操・公園から歩く会等)	851	回	17,762
	地域ささえ愛グループ活動支援	1,566	回	8,590
	地域リハビリテーション活動支援事業 (専門職同行訪問)	29	回	482
	その他 (介護予防サポーター活動、地域発信型普及啓発事業等)			30,591
取組成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者が密にならないよう間隔をとるなど対策を施した上で、定員に制限を設けて教室等を開催しました。そのため、教室等の開催回数はコロナ前の規模まで戻すことができましたが、参加人数についてはコロナ前の規模に回復していません。</p> <p>また、従来特別養護老人ホーム等の高齢者施設を活用して教室等を開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染防止のため施設の使用ができず、区営アパートの集会室等を確保して実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、高齢者の外出控えなどによる筋力の低下が懸念されます。今後は、高齢者が再び積極的に外出するようなプログラムを検討し、筋力の低下を防いでいく必要があります。また、各種の教室等を担っているNPO法人のメンバーが高齢化し、一部教室の実施に支障を来してきました。今後は、NPO法人への参加への促進を行うなど担い手の確保を図っていく必要があります。</p> <p>さらに、教室等の会場については、引き続き高齢者施設の使用に制限があることから、代替の施設を確保する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施して事業を行っています。また、昨今の夏季の熱中症対策として、「公園から歩く会」について、一部の公園では、7月及び9月の開催を中止し、その上で、2か所の体育館を活用して「らくらく歩行筋トレ」講座を開設し筋力低下の防止に努めました。</p> <p>予算執行状況については、概ね計画どおりとなっています。「公園から歩く会」が、天候不良により事業が中止となったため、委託契約の変更による残が生じることとなります。</p>
事業の方向性・改善策	<p>介護予防事業については、「公園から歩く会」の事業を担っているNPO法人の高齢化により、一部事業規模の縮小が見込まれます。その代替事業として、令和5年度から開始した「らくらく歩行筋トレ」教室を通年で実施し、引き続き筋力低下の防止に努めていく予定です。</p> <p>また、重層的支援体制整備事業の実施により、一般介護予防事業のうち地域介護予防活動支援事業は一般会計への移行を予定しているため、今後の行政評価に変更が生じることとなります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>地域介護予防活動支援事業について、重層的支援体制整備事業の実施により一般会計へ移行することとなった場合、本事業のコストは大幅に減少する見込みです。</p> <p>「らくらく歩行筋トレ」の通年化によりコストが増となります。</p> <p>各種事業の委託料は、人件費、物件費の高騰により委託経費が増となる見込みです。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00624)

事務事業名称	後期高齢者健康診査			款	04	項	01	目	01	事業	001	整理番号	610
現担当課名	国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1269		昨年度整理番号	606		
上位施策No・施策名	12 いきいきと住み続けることができる健康づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成20年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業						
令和 4年度担当課名	国保年金課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	後期高齢者医療被保険者	根拠法令等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2) 東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	75歳以上の高齢者の健康診査を行うことにより、後期高齢者の健康の増進と疾病の予防に役立て、あわせて医療費の適正化に資することを目的とする。	活動指標	健康診査受診者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	東京都後期高齢者医療広域連合から健診事業を受託し、健診実績により受託収入の支払を受ける。杉並保健所健康推進課に予算令達を行い、健診事業を実施している。被保険者の受診費用は無料である。	指標名 (1)	健康診査受診対象者数 (各年度4月1日現在の被保険者数 - 健診除外者)
		指標名 (2)	
		指標説明	受診率
		成果指標	受診率
		指標名 (1)	受診者数 ÷ 対象者数 【社会】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 人	30,346	39,900	29,276	35,200	29,911	37,000	85.0	86.9			
活動指標 (2)	2 人	60,524	62,625	60,354	62,780	61,279	63,427	97.6				
成果指標 (1)	3 %	50.1	64	48.5	56	48.8	54	87.1				
成果指標 (2)	4											
事業費	5 千円	404,951	462,733	385,785	455,024	395,323	527,445	特記事項				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,806	4,252	7,906	7,906	7,884	9,548	執行残の理由は、コロナ禍による受診控えにより、受診率が前年度と同様に伸びなかったためです。			
	上記以外の職員	7 千円	0	0	2,205	2,205	2,207	1,471				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	407,757	466,985	395,896	465,135	405,414	538,464					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0				
	その他の補助金等	11 千円	208,354	218,506	199,288	240,096	227,904	240,040				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	208,354	218,506	199,288	240,096	227,904	240,040				
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	199,403	248,479	196,608	225,039	177,510	298,424				

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 610

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	後期高齢者健康診査委託			
事務処理委託				34,732
受診票等の郵送				8,385
	その他 (健康診査システム端末消耗品の購入・保守委託・賃借)			363
取組成果	<p>生活習慣病の早期発見と重症化予防を図り、健康を維持・増進させるため、後期高齢者医療制度被保険者を対象に、区民健診として後期高齢者健康診査を実施しました。</p> <p>また、76歳になる方を対象に、高齢者の口腔機能を維持・向上し、健康寿命の延伸を図るために、後期高齢者歯科健康診査を実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>2年続けて受診率が50%に届かなかったのは、新型コロナウイルス感染症の流行による感染の不安から受診を見送ったことが主な原因で、一時的な現象と思われます。</p> <p>今後は高齢者の増加が見込まれ、また、加齢による心身機能の低下も予想されることから、できるだけ多くの高齢者が健診の受診をすることで健康増進や早期の疾病予防に取り組むことができるように、受診率の向上を図っていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>対象者全員へ受診案内と受診券を送付しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>増大する医療費を抑制するためにも「健康寿命の延伸」が重要となります。そのため、健診は第一には高齢者本人が健康増進と疾病予防に役立てるために実施されますが、マイナンバーカードと保険証の一体化により健診や薬剤情報を医療機関等において閲覧できるようになり、健診の情報が医療の面でも活用され、健診の重要性は一層高まっていくものと予測されます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>来年度も団塊の世代が後期高齢者となり、受診対象者数・受診者数とも増加が見込まれます。健診は健康増進と疾病予防が第一の目的ですが、マイナンバーカードと保険証の一体化により健診や薬剤情報を医療機関等において閲覧できるようになり、健診の情報が医療の面でも活用され、その重要性は一層高まっていくものと予測されます。そのような意味でも、受診率向上の重要性は高まっており、事業予算の拡充が見込まれます。</p>	

令和5年度外部評価 質問票

施策12 いきいきと住み続けることができる健康づくり

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容
1		施策全般	<p>委員記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標(1)～(5)に関しては、参考指標として活用することは有効ですが、施策の成果指標としては外的要因が大きすぎます。区の施策に依る成果を測る指標を設定することはできないでしょうか。 <p>所管課回答欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員ご指摘のとおり、成果指標(1)～(5)はコロナ禍などの社会的影響により数値の上下がみられたり、国の政策や医療技術の進歩などにより外的要因にも影響されるため、区の施策の影響が数値の変化に対しどの程度及んでいるのか見極めがつきにくい部分があります。 ・一方で、例えば施策指標(1)～(2)は、都内共通の指標であり、人口統計や要介護認定などの客観的な統計数値から導きだされるため、都内区市町村間の比較や健康格差等の把握には適しており、特に健康や保健福祉に関わる施策効果を図るうえで、一定の指標になるものと捉えています。 また、施策指標(3)は、特定保健指導対象者割合の減少率と類似の指標を、東京都医療費適正化計画の指標としていますので、区の指標としても適当であると考えています。 ・今後において、国の計画(健康日本21(第三次))が令和6年度から開始されるなど、国及び都の健康づくりに関する計画や目標も順次改定されるため、これら国や都の動向を踏まえつつ、適切な指標の設定を検討していきます。

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容
2	315 318 319 320 321 322 323 326 567 568		委員記入欄 ・事務事業評価の成果指標として社会指標を設定することは、外的要因が大きすぎることから事務事業の取組としての成果を測ることはできないため、適切とはいえません。 成果指標の見直しが必要と考えますが、ご担当のご意見をお聞かせください。
	315	区民と進める健康づくりの推進	所管課回答欄 ・ご指摘のとおり区事務事業の成果を把握するためには「行政サービス成果指標」又は「区民満足度指標」がより適切と考えております。 ただし、健康に関わる指標については、国、都が社会成果(課題)指標を設定していることも少なからずあるため、比較などのため事務事業の目的に沿って設定していくことが望ましいと考えています。 ・当事業については、令和6年度より開始される健康日本21(第三次)などの動向を踏まえ、適切な指標を検討してまいります。
	318 319 320	区民健康診査 成人歯科健康診査 中高年者眼科検診	所管課回答欄 ・318、319、320は、ご指摘を踏まえ、より成果を把握できる指標の設定について検討してまいります。なお、整理番号320「中高年者眼科検診」については、受診率を成果指標の一つとします。
	321 326	生活習慣病予防対策 がん対策の推進	所管課回答欄 ・321、326は、いずれも生活習慣改善が大切であり、生活習慣行動調査等の結果を経年で比較することにより、各取組の効果について評価しています。
	322	精神保健・難病対策	所管課回答欄 ・自殺対策に関する指標については、ご指摘の通り社会情勢等により変動する数値ではありますが、杉並区の自殺者数を指標とすることで、自殺対策の取組を評価できると考えています。端的に評価できる指標がないか検討していきたいと思っております。
	323	受動喫煙等防止対策の推進 防止対策の推進	所管課回答欄 ・受動喫煙等防止対策の推進の成果指標の一つ目「中学生の喫煙経験がある場合」については、理想的な最終目標ではありますが、喫煙率0%を目指すという視点から成果指標としております。 ・また、2つ目の「成人の喫煙率」については、国の「国民栄養調査」における全国や都道府県別の喫煙率と比較することで、区の状況の把握、評価に有効なため成果指標としております。
	567 568	国民健康保険保健事業 特定健康診査・特定保健指導事業	所管課回答欄 ・567、568は、健診・保健事業においては、住民の健康度を図るアウトプット評価が一般的に用いられていることから、適切と考えています。

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
3	315	区民と進める健康づくりの推進	委員記入欄	<p>・健康づくり応援店の件数について、累計ではなく新規とした意図をお聞かせください。</p>
			所管課回答欄	<p>・当事業は平成13年度から開始した事業であり、登録累計数では1000件を超えますが、廃業等により実登録件数との差が大きくなったため、当該年度の取組成果をあらわす指標として新規登録数としました。 【令和4年度健康づくり応援店登録数 394件(保健福祉事業概要令和5年度版より)】</p>
4	316	健康や栄養に関する指導・啓発	委員記入欄	<p>・活動指標(1)「施設への巡回指導及び個別指導件数」の実績が急増した要因は何でしょうか。電話、オンライン等での対応でしょうか。</p> <p>・活動指標(2)「講習会参加者数」が、令和2年度・4年度と比較して、令和3年度が増えている要因は何でしょうか。 現年度の取組成果には、昨年より多くの施設が参加とありますが、施設の参加は増えたが参加者は激減した、ということでしょうか。</p> <p>・成果指標(1)「給食の位置付けに対して十分機能している給食施設」の定義は何でしょうか。</p>
			所管課回答欄	<p>(1)令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により給食施設への巡回を控えていたため、4年度は電話による施設の状況確認と指導を強化したことによります。</p> <p>(2)令和2年度は新型コロナウイルス感染症による業務継続計画により講習会の実施が1回となりました。令和3年度はオンラインツールが活用できるようになったことで、オンラインにより講習会を3回実施しました。令和4年度は給食施設から提出される栄養管理報告書の内容から講習会等の集団指導より施設の状況に応じた個別指導を重視し、講習会の回数を3回から1回に減らしました。</p> <p>(3)健康増進法で定められた特定給食施設が義務として提出する栄養管理報告書の質問項目「健康づくりの一環として給食が機能しているか」の回答として「十分機能している」と回答した施設としています。 回答は「十分機能している」「まだ十分でない」「機能していない」「わからない」の4つから自己評価で給食担当者が回答することとなっています。</p>

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容
5	317 / 326	がん検診	<p>委員記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「杉並区生活習慣行動調査」では、区民全体のがん検診の受診状況の確認はなされていますが、区の検診の利用状況は不明です。がん検診の利用にあたって、人間ドックや職場での健診等、個人的に対応している区民をどの程度と想定しているのでしょうか。がん検診受診者数の目標設定の根拠と実績をどう捉えているのか、お聞かせください。 ・「要精密検査者数」は、多ければ多いほど良い指標ではありません。要精密検査者数の計画(目標値)・実績をどう捉えて、評価・分析するのでしょうか。 ・がん対策のひとつががん検診であることから、整理番号326「がん対策の推進」と統合して評価すべきではないでしょうか。 ・国が設定した受診率の目標についての記載があるとわかりやすいと思いますが、いかがでしょうか。 <p>所管課回答欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区のがん検診全体の受診者数は、活動指標のとおりですが、がんの種類別の実績は、「杉並区保健福祉事業概要」にまとめ、公表しているところです。がん検診の受診対象者は、職域で受診機会がある方などを除き、東京都が算出している対象人口率で算出されています。国の検診受診率の目標値は、「がん対策推進基本計画」で令和4年度は50%とされています。また、区の目標は、「杉並区生活習慣行動調査」の結果及び国の目標を参考に定めていますが、更なる受診率向上を図る必要があると考えています。 ・要精検者数については、国が許容値の割合を目標として示しています。区は要精検率等のプロセス指標を「杉並区がん検診精度管理審議会」等で評価・分析し、検診実施体制等の見直しに生かしています。 ・整理番号326「がん対策の推進」との統合につきましては、当区の事務事業評価の仕組みに関わることから、関係所管と協議します。 ・国が設定した受診率目標については、今後、区民に分かり易く記載していきます。
6	318	区民健康診査	<p>委員記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の方針で、事業コストの方向性が「拡充」となっていますが、令和5年度から実施されている取組の継続であれば、「現状維持」ではないでしょうか。 <p>所管課回答欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、事業の取組に大きな変化はありませんが、令和6年度に向け事業規模とコストを積算し、要する予算額が令和5年度に比べ増えたため、「拡充」としています。

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
7	319	成人歯科健康診査	委員記入欄	<p>・課題・改善策等で、啓発の必要性が示されていますが、これまでの啓発活動について評価がなされていないのはなぜでしょうか。他の事務事業で対応されているのでしょうか。</p> <p>・世田谷区との相互の歯科健診は、とても良い取組だと思います。区境住民の便宜を図るうえで、他の健診でも対応できないでしょうか。</p>
			所管課回答欄	<p>・啓発活動の評価については、今後、有効な方法・手法等を検討してまいります。</p> <p>・現在、成人歯科健康診査は、杉並区のほか、中野区、練馬区、世田谷区の歯科医師会加入医療機関を健診実施機関としています。このほか、区民健康診査と大腸がん検診は、同様に杉並区のほか近隣3区の医師会加入医療機関を健(検)診実施機関としているところです。</p>
8	320	中高年者眼科検診	委員記入欄	<p>・課題・改善策等で、啓発の必要性が示されていますが、これまでの啓発活動について評価がなされていないのはなぜでしょうか。他の事務事業で対応されているのでしょうか。</p>
			所管課回答欄	<p>啓発活動の評価については、今後、有効な方法・手法等を検討してまいります。</p>
9	321	生活習慣病予防対策	委員記入欄	<p>・活動指標(1)「糖尿病ハイリスク者への啓発」に関して、個別勧奨数は多ければ多いほど良い指標ではありません。計画(目標値)・実績をどう捉えて、評価・分析するのでしょうか。</p>
			所管課回答欄	<p>・活動指標は、実績に応じた数で計画をしています。ご指摘のとおり目標値に向けて実績を増やすものではなく、対象者となる糖尿病予備軍が減少した際は、一定の効果がある取組みであると評価します。また、糖尿病予防には「バランスの良い食事」と「継続した運動」が効果があるため成果指標としています。</p>
10	322	精神保健・難病対策	委員記入欄	<p>・ゲートキーパー養成講座受講者は、全員がゲートキーパーになるのでしょうか。 (受講者数=養成者数=ゲートキーパー数?)</p>
			所管課回答欄	<p>ご指摘のとおり、養成講座受講者全員がゲートキーパーとなります。</p>
11	323	受動喫煙等防止対策の推進	委員記入欄	<p>・令和6年度の方針で、事業コストの方向性が「拡充」となっていますが、拡充方針で取り組むとしている内容は、予算は現状維持で、手段・方法の見直しで対応可能ではないでしょうか。</p>
			所管課回答欄	<p>・令和2年度と以降、飲食店店内の喫煙状況を示す店頭への禁煙・専用喫煙室あり等の標識掲示率の低下が見られることから、店頭表示の徹底を図るため、巡回事業を拡充し、事業コストを拡充しました。</p> <p>ただし、委員ご指摘のとおり、喫煙者への禁煙対策の推進など、手段・方法の見直しを行うことで一定の効果も図ることが可能なことから、事業コストと効果を適切に見極め、受動喫煙防止等対策を行ってまいります。</p>

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
12	326	がん対策の推進	委員記入欄	・講演会・各講座参加者へのアンケートは実施されたのでしょうか。実施しているのであれば、アンケート調査の結果を成果指標として活用していない理由をお聞かせください。
			所管課回答欄	・講座内容の満足度アンケートを行っていますが、受講後の行動変容までの追跡アンケートは実施していません。 ・そのためがん予防には禁煙、野菜を1日350g食べる等の生活習慣を身に付けることが大切であるため、講座受講時のみの評価ではなく、正しい生活習慣を身に付ける者の割合を成果指標としています。
13	327	健康づくり推進活動	委員記入欄	・「事業の目的・目標」に記載の内容は、政策レベルの目標です。当該事務事業のレベルに即した目標に見直す必要があるのではないのでしょうか。
			所管課回答欄	・この事業では協議会における区民の健康指標の評価や教室の開催、運動事業の取組など様々な取組を行っていることから、事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)については、今後、事務事業のレベルに即した具体的な事業の目的・目標への見直しを検討してまいります。 例えば「区民、事業者、関係団体等と区が協働して区民一人ひとりの健康づくりを推進させる」など
14	339	大気汚染被害対策	委員記入欄	・「大気汚染に係る健康障害」に関する申請者数・認定者数は、多ければ多いほど良い指標ではありません。 活動指標(1)(2)について、計画(目標値)・実績をどう捉えて、評価・分析するのでしょうか。 ・当該事務事業では、制度の周知や適切な審査の実施等に係る取組について、評価・分析することが必要ではないのでしょうか。
			所管課回答欄	・大気汚染医療費助成制度は現在18歳未満の区民のみ新規申請の対象となっており、本制度の利用に当たっては医師の診断書等の提出(診断書等の作成に係る費用は自己負担)が手続きで必要となるため、本制度を利用せず、子どもの医療費助成制度を利用する傾向が高くなっています。昭和47年に本制度が始まった頃は、子どもの医療費助成制度はありませんでした。更に令和5年度より子どもの医療費助成制度が高校生相当年齢まで拡大したため、区民の立場から考えると、本制度を新規申請する経済的負担軽減のメリットはなくなっています。また、更新者は月額6,000円を超えた自己負担分が助成対象となり、経済的負担の軽減につながらないケースもあります。ご意見のとおり申請者数の増加は健康被害者の増加と捉える側面もありますが、本制度が制度周知などによって積極的に活用された結果、更新者も含めて申請者数の増加につながったと評価・分析するものです。 ・本制度は子どもの医療費助成制度と比較して認知度が低いことから制度周知のあり方については課題と捉えております。また、認定審査については審査会条例等に基づき、公正かつ適切に実施していますので現時点で改めての評価・分析は不要と考えていますが、今後の制度活用の推移や制度変更等の状況変化を踏まえて、認定審査のあり方について評価・分析を実施します。

質問No.	整理番号	事務事業名等 (プルダウンメニューより選択)	質問内容	
15	567	国民健康保険保健事業	委員記入欄	・生活習慣病予防事業の対象者数を、2000人から20000人に増やした経緯、根拠をお示ください。
			所管課回答欄	・将来リスクの高い者から2,000人を対象としていましたが、より多くの者に啓発するため、デジタル化計画事業において20,000人に拡大しました。
16	568	特定健康診査・特定保健指導事業	委員記入欄	・「特定保健指導対象者」に関しては、多ければ多いほど良い指標ではありません。 活動指標(2)について、計画(目標値)・実績をどう捉えて、評価・分析するのでしょうか。
			所管課回答欄	・特定保健指導の対象者数は目標値より多いため、まずは目標値に近づける指標として(国は対象者数の60%が目標値)評価・分析しています。
17	591	一般介護予防事業	委員記入欄	・令和6年度の方針で、事業コストの方向性が「拡充」となっていますが、拡充の根拠としている「らくらく歩行筋トレ」の通年化は、規模の縮小が見込まれる事業の代替事業とされていることから、予算は現状維持で、手段・方法の見直しで対応可能ではないでしょうか。 また、人件費、物件費の高騰は当該事業に限った要因ではないのでしょうか。
			所管課回答欄	・当該縮小対象事業は、NPO法人への委託で実施している事業で縮小の対象は2会場18回分です。「らくらく歩行筋トレ」は民間法人への委託とし複数の体育館で27回分を開催する予定となること。また、NPO法人への委託金額と民間企業への委託金額の違いから、委託金が大幅な経費増となるため、「拡充」としています。
18		施策全般	委員記入欄	・3年ごとに実施されている「杉並区生活習慣行動調査」について、調査結果を施策・事務事業の改善に活かした具体例をお示ください。
			所管課回答欄	・「杉並区健康づくり推進条例の規定に基づく目標及び指標」の見直し作業(令和3年度)において、全46の指標のうち22の指標について、「杉並区生活習慣行動調査」の結果を踏まえて、令和3年度までの取組の評価と、令和4年度～12年度の新たな目標値の設定を行いました。
19		施策全般	委員記入欄	・本施策に関しては、他区においても同様の施策が実施されています。 23区で比較して、杉並区の取組をどう評価・分析していますか。
			所管課回答欄	・23区内における杉並区民の65歳健康寿命は改善傾向にあり、男性1位、女性1位(令和3年)となっています。 ・この結果は、医学の進歩など外的要因に依る部分もありますが、一方で区がこれまで区民とともに取り組んできた健康づくり事業、生活習慣病予防対策及びがん対策など様々な事務事業を実施してきました。また、区民、事業者、医師会などの関係団体との協働による様々な取組により、区民一人ひとりの健康への意識が高まったことなどが寄与したものと考えられます。

令和5年度杉並区財団等経営評価表(団体一次評価 概要版)

団体概要	名称	特定非営利活動法人 すぎなみ環境ネットワーク			電話	03-5941-8701			
	基本財産	0円		設立年月日	平成15年2月19日		所管部課	環境部環境課	
事業目的	環境や省エネ、リサイクルに関する諸事業の推進を通じて、区民の環境保全行動に寄与する。 ・区民の環境と地球温暖化防止への関心を高め、ひいては地球環境の保全に努める事業を展開していく。			顧客(サービス対象)		区内在住・在勤・在学の方			
	事業内容			1. 環境保全及びリサイクルに関する普及啓発 2. 同情報の収集及び提供 3. 同調査研究 4. 集団回収の推進 5. 家具、衣料品等のリユース 6. エコ商品の普及 7. 小中学生環境学習・サミット支援 8. フリーマーケットの運営、環境イベントの開催 9. 市民・他団体・行政等とのネットワーク構築					
事業評価指標	指標名		算式・内容		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	活動指標	集団回収団体数	集団回収登録団体数		団体	476	475	473	
		衣料品販売所来店者数	来店者数		人	10,835	11,335	16,018	
		フードドライブ窓口受付	未利用食品の提供を受けた人数		人	858	1,582	2,008	
	成果指標	集団回収回収量	自治会・集合住宅等の団体が回収した量		トン	4,655	4,494	4,156	
フードドライブ提供個数		未利用食品の提供数		個	6,542	14,343	24,441		
令和4年度の事業実績	(1) 環境保全及びリサイクルに関する普及啓発 ①実技講座・講習会の実施 ・普及啓発事業(もったいない精神)講座・講演会・見学会…講座79講座、バス見学会1回、清掃工場連携講演会1回、その他講演会1回、参加者数 937人 ・普及啓発事業(みどりテーマ)講座・講演会・見学会…講座7講座、観察会 4回、バス見学会 2回、参加者数302人 ・普及啓発事業(環境活動)講座・講演会・見学会…講座 19講座、川ガキ復活講座 全9回、講演会 3回、バス見学会 2回 参加者数 618人 ②リーダー養成研修の実施 講師養成講座…1講座5回シリーズ、参加者(5回の延べ参加人数) 39人 ③リサイクルアイデア作品展の実施 かんきょうアイデア展…出品 64点、参加小中学校 18校 来場者 252人 ④他団体が実施する各種イベントへの参加、協力 学校支援…実施数 77回 児童・生徒数 6,031人、小中学生環境サミット…13校 児童・生徒数 1,867人 (2) 環境保全及びリサイクルに関する情報の収集及び提供 不用品情報コーナーの運営 不用品情報コーナー…契約成立件数 45件 (3)環境保全及びリサイクルに関する調査研究 (4)集団回収の推進 団体数:473 回収量:4,156t (5)衣料品等のリユース 衣料品販売…36,326点 (6)エコ商品の普及 環境活動推進センター施設利用件数… 延べ 355回 (7)フリーマーケットの運営 2回・16区画 (8)市民、他団体、事業者、行政等とのネットワークの構築並びに連絡調整 環境イベント(清掃工場連携講演会・すぎなみエコ路地フェスタ)の開催…参加団体数:24、来場者:122人 (9)その他法人の目的を達成するための事業 フードドライブ事業…受付人数2,008人 受付個数24,441個								
経営分析(定量評価)	項目		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	特記事項		
	財務	(ア) 総収入	千円	75,102	73,915	79,932		食器、衣料販売が好調だったため、令和3年度をもって終了した家具販売収入分を上回る収入を確保することができた。また、家具事業に携わっていた補助職員(8名)を令和4年3月末をもって契約終了とした。	
		(イ) 受益者負担	千円	0	0	0			
		(ウ) 総支出	千円	72,548	77,173	70,499			
		(エ) 資産	千円	37,447	33,716	42,148			
		(オ) 経常収支	千円	2,554	▲ 3,258	9,433			
		(カ) 事業費比率	%	89.2	92.0	88.5			
		(キ) 管理費比率	%	10.8	8.0	11.7			
		(ク) 補助金収入比率	%	7.8	7.0	6.1			
		(ケ) 経常支出人件費比率	%	74.1	75.1	69.0			
		(コ) 職員一人当たり事業収入	千円	2,765	2,948	4,574			
	(サ) 損益分岐点	千円	72,394	77,544	69,648				
	組織	(シ) 総職員数	人	46	44	35			
		(ス) 常勤換算職員数	人	23.4	22.9	16.4			
(セ) 常勤役員比率		%	4.3	4.4	6.1				
経営分析(定性評価)	令和2年度	令和3年度	令和4年度		定性評価レーダーチャート 				
	評価	評価	評価	得点					
	計画性	A	A	A		90			
	目的適合性	A	A	A		100			
	健全性	B	B	A		80			
	効率性	B	B	B		70			
	経済性	A	A	A		90			
総合	A	B	A	430					

※経営分析(定量評価)の「職員1人あたり事業収入」及び「常勤役員比率」の算定にあたっては、「常勤換算職員数」を使用します。

事業分析(現状の分析・評価)	
<p>新型コロナウイルス感染防止対策のため、リサイクルひろば高井戸のエコマーケットの一時休業など、様々な影響があったが、営業努力により前年度を上回る収入を確保することができた。</p> <p>①集団回収については前年度同様、団体の担い手の高齢化とコロナ禍における活動の停滞、及び、全国的な古紙価格下落による回収事業者の減少の影響により、回収量が減少している。</p> <p>②衣料品販売は、31日間休業したが、セールや売れ筋の商品の陳列を工夫する等の営業努力により、前年度比で売上増となった。</p> <p>③フードドライブ事業については、コロナ禍特有の都などから自宅療養者に配布された食料品(お米など)の寄附も多く、受付個数・重量ともに令和3年度を上回った。子ども食堂を運営する多くの団体へ、食品を提供することができた。</p> <p>④講座を実施直前で中止する事態が何度かあったが、感染防止対策を講じて可能な限り実施し、実施回数、参加者数ともに前年度を上回った。</p>	
経営分析	
定量評価	定性評価
<p>①令和3年度末をもって家具販売事業から撤退し、これに係る人件費が大幅に減少し、経常収支は黒字に転換した。</p> <p>②令和3年度から職員に一時金が支給されるようになったため、総管理費にもこれが影響し、管理費比率が上昇した。</p> <p>③総人件費が減少したことにより、人件費比率も減少している。</p> <p>④コロナ禍が収束しリサイクルひろばの売上がコロナ禍以前に戻りつつあることにより事業収入が増加し、補助金収入比率が減少している。</p> <p>⑤長年赤字運営が続いていたが、主に上記①の理由により令和4年度から黒字転換を図ることに成功した。</p>	<p>計画性</p> <p>○区環境基本計画や実行計画(3年プログラム)との整合性を確保して「すぎなみ環境ネットワーク第4次中期計画(令和4年～令和8年度)」を策定し、事業ごとの計画数値を設定しているが、一部の事業については数値化出来ていないものがある。</p> <p>○令和5年度(2023年度)すぎなみ環境ネットワーク財政計画・事業計画及び収支予算を策定した。</p>
	<p>目的適合性</p> <p>○法人の設立目的は、環境保全分野におけるリサイクル等の諸事業を行うことにより区民の環境に対する関心を高め、引いては地球環境の保全に寄与することである。この目的に沿って中期計画を策定し、リユースの促進・環境保全に関する普及啓発、リサイクルの推進、ごみ減量等の事業を実施している。</p> <p>○事業目標(定量的数値)の設定については過去の実績等を勘案して妥当な推移値を設定するよう努めている。</p> <p>○各事業委員会において、講座・講演会のテーマ及び講師については、タイムリーな環境問題について積極的に情報収集を行い、参加者が環境に関心を高める内容になるよう、日々協議・検討している。また、区民向けの環境学習については、次回の環境学習の内容に反映できるように、参加者アンケートを確認・分析して区民のニーズ等の把握に努めている。</p>
	<p>組織健全性</p> <p>○定款に基づき、総会による意思決定を行うとともに、理事、幹事を選任し、法人の業務の執行及び監査を適切に実施している。</p> <p>○財政面と研修体制が脆弱なため組織的な研修体制は整っていないが、OJTを中心にした職員の能力育成と、国や都の資料収集や区との情報交換を通じ、個人でのスキルアップを図っている。</p> <p>○ローテーション勤務の弊害を補うため、毎朝ミーティングの実施及び定期的な職場会議の開催を行い、事業等に対する情報共有を図っている。また、一つの事業について、担当職員を二人体制とし、事業を実施するに当たって、正確性を担保している。</p> <p>○経理担当についても、二人体制で会計処理をチェックするとともに、税理士に最終確認を依頼している。</p> <p>○定期的な職場会で、法人の財政状況を伝え、職員に効率的な事務処理運営と超過勤務縮減などの経費削減を促している。</p> <p>○受託事業ごとに情報管理体制を設け、情報の保管場所、保管方法(事務室内の施錠キャビネット)を徹底している。</p>
	<p>効率性</p> <p>○家具販売事業の撤退に伴い、担当補助事務職員(8人)を、令和4年3月末をもって契約終了とした。</p> <p>○当法人は特定非営利活動法人のため、資産運用は考えていない。</p> <p>○事務処理(特に経理部門)については、日々担当者同士で、効率化について協議・実施している。</p> <p>○講座等の区民からの申込みの際、ホームページ上の申込フォームを活用し、事務作業の効率化を図った。</p> <p>○事務処理の大半が、区からの委託事業であるため、外部委託は行っていないが、環境講座等を効率的・効果的に開催するため、専門知識のある区内団体の協力を得ている。</p>
	<p>経済性</p> <p>○リユース販売事業に係る値付けについては、インターネット等で情報収集を行い、適正な金額を設定している。</p> <p>○講座、講演会の参加費を低額に設定している(無料～1500円(主に材料費))。</p> <p>○事業に係る消耗品の購入にあたっては、インターネット等で最低価格を調べて購入している。</p> <p>○リサイクルひろば高井戸の販売セールやチラシを作成して、集客に繋がる工夫を日々研究・実践している。</p>
総合評価	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、リサイクルひろば高井戸の休業は31日間にとどまり、計画事業を実施することができた。</p> <p>リサイクルひろば高井戸の食器、衣料販売が好調だったことと、令和3年度をもって終了した家具販売事業に携わっていた補助職員の契約終了により、人件費比率の低減と職員一人当たり事業収入が増加したことにより、経常収支を黒字化することができた。</p>	

杉並区財団等経営評価－事業分析Ⅰ（事業概要）

<p>団体名称</p>	<p>特定非営利活動法人 すぎなみ環境ネットワーク</p>		<p>電話</p>	<p>03-5941-8701</p>
<p>基本財産</p>	<p>0円</p>	<p>設立年月日</p>	<p>所管部課</p>	<p>環境部環境課</p>
<p>顧客</p>	<p>区内在住・在勤・在学の方 平成15年2月19日</p>			
<p>事業目的</p>	<p>・環境や省エネ、リサイクルに関する諸事業の推進を通じて、区民の環境保全行動に寄与する。 ・区民の環境と地球温暖化防止への関心を高め、ひいては地球環境の保全に努める事業を展開していく。</p>			
<p>事業内容</p>	<p>事業規模（令和4年度計画）</p> <p>(1) 環境保全及びリサイクルに関する普及啓発 ①実技講座・講習会の実施 ②リダー養成研修の実施 ③リサイクルアイデア作品展の実施 ④他団体が実施する各種イベントへの参加、協力 ⑤自然観察会の実施 (2) 環境保全及びリサイクルに関する情報の収集及び提供 ①不用品情報コーナーの運営 ②関係図書及び資料の収集、展示 (3) 環境保全及びリサイクルに関する調査研究 ①住民意識調査の実施 ②環境調査の実施 (4) 集団回収の推進 ①区からの報奨金の支給 ②集団回収団体の勧誘及び育成 ③集団回収団体及び回収事業者との連絡調整 (5) 家具、衣料品、食器等のリユース (6) エコ商品の普及 (7) フリーマーケットの運営 (8) 市民、他団体、事業者、行政等とのネットワークの構築並びに連絡調整 (9) その他法人の目的を達成するための事業</p>			
<p>組織構成</p>	<p>令和4年度の事業実績</p> <p>・役員 理事 13名(常勤 1名 非常勤 12名) 監事 2名 ・事務局職員 環境活動推進センター 11名(常勤 8名 非常勤 3名) リサイクルひろば高井戸 9名(常勤 2名 非常勤 7名)</p>			
<p>事業規模</p>	<p>(1) 環境保全及びリサイクルに関する普及啓発 ①実技講座・講習会の実施 ・普及啓発事業(もったいない精神)講座・講演会・見学会…講座76講座、バス見学会1回、清掃工場連携講演会1回 ・普及啓発事業(みどりアーマ)講座・講演会・見学会…講座6講座、講演会1、観察会 4回、バス見学会 2回 ・普及啓発事業(環境活動)講座・講演会・見学会…講座 22講座、川ガキ復活講座 全9回、講演会 3回、バス見学会 2回 ②リダー養成研修の実施 講師養成講座…1講座5回シリーズ ③リサイクルアイデア作品展の実施 かんきょうアイデア展……出品 100点、参加小中学校 18校 ④他団体が実施する各種イベントへの参加、協力 学校支援…実施数 100回、小中学生環境サミット…10校 (2) 環境保全及びリサイクルに関する情報の収集及び提供 ①不用品情報コーナーの運営 不用品情報コーナー (3) 環境保全及びリサイクルに関する調査研究 (4) 集団回収の推進 (5) 衣料品等のリユース (6) エコ商品の普及 環境活動推進センター施設利用 (7) フリーマーケットの運営 6回 (8) 市民、他団体、事業者、行政等とのネットワークの構築並びに連絡調整 環境イベント(清掃工場連携講演会、すぎなみエコ路地フェスタ)の開催 (9) その他法人の目的を達成するための事業 フードドライブ事業</p> <p>(1) 環境保全及びリサイクルに関する普及啓発 ①実技講座・講習会の実施 ・普及啓発事業(もったいない精神)講座・講演会・見学会 …講座79講座、バス見学会1回、清掃工場連携講演会1回、その他講演会1回、参加者数 937人 ・普及啓発事業(みどりアーマ)講座・講演会・見学会…講座7講座、観察会 4回、バス見学会 2回、参加者数302人 ・普及啓発事業(環境活動)講座・講演会・見学会…講座 19講座、川ガキ復活講座 全9回、講演会 3回、バス見学会 2回、参加者数 618人 ②リダー養成研修の実施 講師養成講座…1講座5回シリーズ、参加者(5回の延べ参加人数) 39人 ③リサイクルアイデア作品展の実施 かんきょうアイデア展……出品 64点、参加小中学校 18校 来場者 252人 ④他団体が実施する各種イベントへの参加、協力 学校支援…実施数 77回 児童・生徒数 6,031人、小中学生環境サミット…13校 児童・生徒数 1,867人 (2) 環境保全及びリサイクルに関する情報の収集及び提供 不用品情報コーナーの運営 不用品情報コーナー…契約成立件数 45件 (3) 環境保全及びリサイクルに関する調査研究 (4) 集団回収の推進 団体数:473 回収量:4,156t (5) 衣料品等のリユース 衣料品販売…36,326点 (6) エコ商品の普及 環境活動推進センター施設利用件数… 延べ 355回 (7) フリーマーケットの運営 2回・16区画 (8) 市民、他団体、事業者、行政等とのネットワークの構築並びに連絡調整 環境イベント(清掃工場連携講演会、すぎなみエコ路地フェスタ)の開催…参加団体数:24、来場者:122人 (9) その他法人の目的を達成するための事業 フードドライブ事業…受付人数2,008人 受付回数24,441回</p>			

杉並区財団等経営評価一事業分析Ⅱ（事業評価指標）

指標名	指標内容	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	目標	
						目標値	目標年度
活動指標	① 集団回収団体数	団体	476	475	473	492	4
	② 衣料品販売所来店者数	人	10,835	11,335	16,018	17,000	4
	③ フードドライブ窓口受付	人	858	1,582	2,008	2,100	4
	④ 講座・講演会参加者数	人	1,118	1,485	1,896	2,063	4
成果指標	⑤ 集団回収回収量	トン	4,655	4,494	4,156	4,200	4
	⑥ フードドライブ提供個数	個	6,542	14,343	24,441	25,000	4
事業分析（現状の分析・評価）							
目標設定の考え方			<p>令和4年度の目標値は、「すぎなみ環境ネットワーク第4次中期計画」の掲げる目標値を中心に、新型コロナウイルス感染症の影響を加味せず、過去の実績に基づく目標値とした。</p> <p>① 集団回収については、第4次中期計画で団体数と回収量の増を目指しており、団体数、回収量は現状から微増を基本とした。</p> <p>② 衣料品販売所来店者数については、実績を参考に算出した。</p> <p>③ フードドライブ事業については、区民の環境意識の高まりで、令和4年度より増加することを前提に算出した。</p> <p>④ 講座・講演会は、現状から微増で算出した。</p>				
事業分析（現状の分析・評価）			<p>新型コロナウイルス感染症防止対策のため、リサイクルひろば高井戸のエコマーケットの一時休業など、様々な影響があったが、営業努力により前年度を上回る収入を確保することができた。</p> <p>① 集団回収については前年度同様、団体の担い手の高齢化とコロナ禍における活動の停滞、及び、全国的な古紙価格下落による回収事業者の減少の影響により、回収量が減少している。</p> <p>② 衣料品販売は、31日間休業したが、セールや売れ筋の商品の陳列を工夫する等の営業努力により、前年度比で売上増となった。</p> <p>③ フードドライブ事業については、コロナ禍特有の都などから自宅療養者に配布された食料品（お米など）の寄附も多く、受付個数・重量ともに令和3年度を上回った。子ども食堂を運営する多くの団体へ、食品を提供することができた。</p> <p>④ 講座を実施直前で中止する事態が何度かあったが、感染防止対策を講じて可能な限り実施し、実施回数、参加者数ともに前年度を上回った。</p>				

杉並区財団等経営評価一事業分析Ⅲ（財務状況等の推移）

項目	算式・説明	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
総収入(経常収入)	(ア)	千円	76,629	75,556	75,102	73,915	79,932	
補助金収入		千円	5,515	5,847	5,850	5,194	4,868	
事業収入	事業収入+掛金収入	千円	70,596	69,496	64,704	67,500	75,010	
うち	内 区からの受託事業費	千円	44,308	44,683	46,563	49,075	54,195	
うち	基本財産運用収入額	千円	0	0	0	0	0	
うち	受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担比率	受益者負担÷総事業費	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
総支出(経常支出)	(ウ)	千円	78,475	78,775	72,548	77,173	70,499	
総事業費		千円	68,784	69,009	64,686	71,019	62,370	
うち	内 事業費	千円	13,444	13,564	12,825	14,291	15,764	
うち	事業に係る人件費	千円	55,340	55,445	51,861	56,728	46,606	
うち	内 区からの受託事業の事業費	千円	44,308	44,683	46,563	49,075	54,195	
うち	総管理費	千円	9,691	9,766	7,862	6,153	8,243	
うち	内 管理費	千円	7,058	7,720	5,942	4,946	6,224	
うち	管理に係る人件費	千円	2,633	2,046	1,920	1,207	2,019	
うち	* 総人件費	千円	57,973	57,491	53,781	57,935	48,625	
うち	内 区からの受託事業に係る人件費	千円	35,941	35,984	38,628	39,899	36,785	
資産	(エ)	千円	36,565	34,455	37,447	33,716	42,148	
負債		千円	6,655	7,885	8,416	8,111	7,222	
正味財産	資産-負債	千円	29,910	26,570	29,031	25,605	34,926	
基本財産額		千円	0	0	0	0	0	
総職員数	(シ) 役員、派遣職員、固有職員の総数	人	47	46	46	44	35	
うち	常勤	人	1	1	1	1	1	
うち	非常勤	人	14	13	13	13	14	
うち	派遣職員数	人	0	0	0	0	0	
うち	固有職員数	人	11	11	11	10	10	
うち	非常勤	人	21	21	21	20	10	
常勤換算職員数	(ス) 常勤職員の勤務時間に基づき職員数を算定 リサイクルひろば高井戸の来客数及び事業参加者数等	人	23.3	23.8	23.4	22.9	16.4	小数点以下第2位を四捨五入する。
サービス利用年間延べ人数	サービス利用年間延べ人数÷常勤換算職員数	人	181,985	176,762	140,219	150,651	164,148	
職員一人当たりサービス利用人数	集団回収の事業費	人	7,811	7,427	5,992	6,579	10,009	
集団回収の事業費	集団回収の事業費(人件費含)/利用団体数(年)	円	19,517	19,472	21,328	21,133	21,844	
不用品情報コーナー事業費	不用品情報コーナー事業費/紹介者数	円	5,743	3,703	2,846	2,867	3,592	
講座講演会事業	講座講演会担当職員人件費/参加者数	円	1,248	3,018	4,787	5,751	4,747	

※金額は、千円未満を四捨五入します。%については、小数点以下第2位を四捨五入します。

杉並区財団等経営評価－経営分析Ⅰ（定量指標）

指標	算定式	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考	参考
1 事業費の対計画比率	全事業の事業費(決算額)÷当初予算事業費額×100	%	84.3	91.0	91.7		
2 (才) 経常収支	経常収入(総収入)－経常支出(総支出)	千円	2,554	▲ 3,258	9,433		通常黒字が望ましい
3 経常収支比率	経常収入÷経常支出×100	%	103.5	95.8	113.4		通常100%以上が望ましい
4 事業収入合計の伸長率	当該年度の事業収入÷前年度の事業収入×100	%	93.1	104.3	111.1		通常増加が望ましい
5 経常収入の伸長率	当該年度の経常収入÷前年度の経常収入×100	%	99.4	98.4	108.1		通常増加が望ましい
6 (力) 事業費比率	全事業の事業費÷経常支出×100	%	89.2	92.0	88.5		通常増加が望ましい
7 (キ) 管理費比率	総管理費÷経常支出×100	%	10.8	8.0	11.7		通常減少が望ましい
8 (ク) 補助金収入比率	補助金収入÷総収入合計×100	%	7.8	7.0	6.1		通常減少が望ましい
9 収益事業比率	収益事業の事業費÷全事業の事業費×100	%	34.2	30.0	23.0		
10 区委託事業比率	区からの受託事業費÷総事業費×100 (補助金は含まず)	%	72.0	69.1	86.9		
11 正味財産構成比率	正味財産÷(負債+正味財産)×100	%	77.5	75.9	82.9		通常増加が望ましい
12 基本財産運用収入率	基本財産運用収入額÷基本財産額×100	%	－	－	－		通常増加が望ましい
13 (ケ) 経常支出人件費比率	総人件費÷経常支出×100	%	74.1	75.1	69.0		通常減少が望ましい
14 (セ) 常勤役員比率	常勤役員数÷常勤換算職員数×100	%	4.3	4.4	6.1		通常減少が望ましい
15 常勤役員人件費比率	常勤役員人件費÷総人件費×100	%	8.1	7.7	9.2		通常減少が望ましい
16 管理費比率の削減率	(1－当該年度の管理費比率÷前年度の管理費比率)×100	%	26.4	25.9	46.3		通常増加が望ましい
17 資産回転率(回)	総収入÷資産	回	2.0	2.2	1.9		通常1回以上が望ましい
18 (コ) 職員1人当たり事業収入	事業収入÷常勤換算職員数	千円	2,765	2,948	4,574		通常増加が望ましい
19 資産剰余率	剰余金(当期正味財産増加額)÷資産×100	%	6.6	▲ 10.2	22.1		通常増加が望ましい
20 (サ) 損益分岐点	固定費÷[1－(変動費÷総収入)]	千円	72,394	77,544	69,648		
21 損益分岐点比率	損益分岐点÷総収入×100	%	96.4	104.9	87.1		通常90%未満が望ましい

※金額は、千円未満を四捨五入します。%及び回数については、小数点以下第2位を四捨五入します。

経営分析・定量評価

- ①令和3年度末をもって家具販売事業から撤退し、これに係る人件費が大幅に減少し、経常収支は黒字に転換した。
- ②令和3年度から職員に一時金が支給されるようになったため、総管理費にもこれが影響し、管理費比率が上昇した。
- ③総人件費が減少したことにより、人件費比率も減少している。
- ④コロナ禍が収束しリサイクルひろばの売上がコロナ禍以前に戻りつつあることにより事業収入が増加し、補助金収入比率が減少している。
- ⑤長年赤字運営が続いていたが、主に上記①の理由により令和4年度から黒字転換を図ることに成功した。

財団等経営評価一経営分析Ⅱ(定性指標)

○:十分できている、△:おおむねできている、×:できていない

分野	指標	評価	分野の点数(100点)
計画性	1 経営戦略及び経営目標達成の進捗状況管理の手段として、中長期経営計画が策定されているか。	○	90
	2 中長期経営計画に、事業ごとの具体目標(数値目標)が設定されているか。	△	
	3 年次事業計画書・収支予算書が、中長期経営計画に基づく短期的行動指針として作成されているか。	○	
	4 中長期経営計画や年次事業計画の策定に当たって、区の行政サービスに関する計画との整合性が確保されているか。	○	
	5 年次計画と年次実績との乖離原因の分析と結果が、次年度以降の計画へ反映されているか。	○	
分析・評価	○区の環境基本計画や実行計画(3年プログラム)との整合性を確保して「すぎなみ環境ネットワーク第4次中期計画(令和4年～令和8年度)」を策定し、事業ごとの計画数値を設定しているが、一部の事業については数値化出来ていないものがある。		
	○令和5年度(2023年度)すぎなみ環境ネットワーク財政計画・事業計画及び収支予算を策定した。		
目的適合性	6 事業内容と団体の設立目的が合致しているか。	○	100
	7 事業目標(定量的数値)の設定方法が妥当か。	○	
	8 団体が提供するサービス等に対する顧客の満足度を調査・分析しているか。	○	
	9 新規事業の企画段階または新しい商品やサービスの提供を開始する際に、顧客のニーズを調査・分析しているか。	○	
	分析・評価	○法人の設立目的は、環境保全分野におけるリサイクル等の諸事業を行うことにより区民の環境に対する関心を高め、引いては地球環境の保全に寄与することである。この目的に沿って中期計画を策定し、リユースの促進・環境保全に関する普及啓発、リサイクルの推進、ごみ減量等の事業を実施している。 ○事業目標(定量的数値)の設定については過去の実績等を勘案して妥当な推移値を設定するよう努めている。 ○各事業委員会において、講座・講演会のテーマ及び講師については、タイムリーな環境問題について積極的に情報収集を行い、参加者が環境に関心を高める内容になるよう、日々協議・検討している。また、区民向けの環境学習については、次回の環境学習の内容に反映できるように、参加者アンケートを確認・分析して区民のニーズ等の把握に努めている。	
組織健全性	10 管理者及び職員の能力育成体制が整備されているか。	△	80
	11 意思決定及び業務の妥当性を確保するための監理体制ができているか。	○	
	12 財産管理や会計処理が適正に行われているか。また、監査の体制が整備されているか。	○	
	13 区からの財政的支援(補助金)に依存しない経営努力を行っているか。	△	
	14 個人情報の管理と情報公開は適正に行われているか。	○	
分析・評価	○定款に基づき、総会による意思決定を行うとともに、理事、幹事を選任し、法人の業務の執行及び監査を適切に実施している。 ○財政面と研修体制が脆弱なため組織的な研修体制は整っていないが、〇JTを中心とした職員の能力育成と、国や都の資料収集や区との情報交換を通じ、個人でのスキルアップを図っている。 ○ローテーション勤務の弊害を補うため、毎朝ミーティングの実施及び定期的な職場会議の開催を行い、事業等に対する情報共有を図っている。また、一つの事業について、担当職員を二人体制とし、事業を実施するに当たって、正確性を担保している。 ○経理担当についても、二人体制で会計処理をチェックするとともに、税理士に最終確認を依頼している。 ○定期的な職場会で、法人の財政状況を伝え、職員に効率的な事務処理運営と超過勤務縮減などの経費削減を促している。 ○受託事業ごとに情報管理体制を設け、情報の保管場所、保管方法(事務室内の施錠キーボード)を徹底している。		

財団等経営評価－経営分析Ⅱ（定性指標）

分野	指標	評価	分野の点数(100点)
効率性	15 予算節約度の原因分析結果が、業績改善へ結びつけられているか。	○	70
	16 人件費を削減するための工夫を行っているか。	○	
	17 資産運用効率を改善するための工夫を行っているか。	×	
	18 事務処理の効率を改善するための工夫を行っているか。	○	
	19 業務の効率化、コストダウンのためにアウトソーシング(外部委託)を活用しているか。 ○家具販売事業の撤退に伴い、担当補助事務職員(8人)を、令和4年3月末をもって契約終了とした。 ○当法人は特定非営利活動法人のため、資産運用は考えていない。 ○事務処理(特に経理部門)については、日々担当者同士で、効率化について協議・実施している。 ○講座等の区民からの申込みの際、ホームページ上の申込フォームを活用し、事務作業の効率化を図った。 ○事務処理の大半が、区からの委託事業であるため、外部委託は行っていないが、環境講座等を効率的・効果的に開催するため、専門知識のある区内団体の協力を得ている。	△	
経済性	20 同種の事業形態、同規模の他団体を業績向上の比較対象として設定し、業績改善の努力を行っているか。	△	90
	21 サービスコスト低減のための努力(施策)を行っているか。	○	
	22 物品の調達コスト低減のための努力(施策)を行っているか。	○	
	23 交渉や入札等により、外部委託コスト(業務委託費)低減のための努力(施策)を行っているか。	○	
	24 事業収入を増加させるための努力(施策)を行っているか。 ○リユース販売事業に係る値付けについては、インターネット等で情報収集を行い、適正な金額を設定している。 ○講座、講演会の参加費を低額に設定している(無料～1500円(主に材料費))。 ○事業に係る消耗品の購入にあたっては、インターネット等で最低価格を調べて購入している。 ○リサイクルひろば高井戸の販売セールの告知やチラシを作成して、集客に繋がる工夫を日々研究・実践している。	○	
分析・評価			

杉並区財団等経営評価(団体総合評価)

団体名称	特定非営利活動法人 すぎなみ環境ネットワーク
総合評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、リサイクルひろば高井戸の休業は31日間にとどまり、計画事業を実施することができた。</p> <p>リサイクルひろば高井戸の食器、衣料販売が好調だったことと、令和3年度をもって終了した家具販売事業に携わっていた補助職員の契約終了により、人件費比率の低減と職員一人当たり事業収入が増加したことにより、経常収支を黒字化することができた。</p>
今年度の取組・目標	<p>○引き続き、新型コロナウイルス感染予防に留意しつつ、区民の生活環境の向上と地球環境の保全に寄与するため、次の事業を柱に取り組んでいく。</p> <p>○第一に、令和4年3月に決定した第4次中期計画に基づき、自主事業(リサイクルひろば高井戸のリユース事業の販売)の収益拡大と区からの受託事業の確実な実施に努める。</p> <p>○第二に、各事業委員会の活動費の見直しや事務経費の削減及び事務処理の効率化を引き続き、実施していく。</p> <p>○第三に、ホームページ、SNSなどを駆使したタイムリーな環境関連の情報発信に努め、リサイクルひろば高井戸と環境活動推進センターの認知度を高めていく。</p>
今後の団体のあり方 (中・長期的視点)	<p>○令和4年度からスタートした第4次中期計画に基づいて、地球温暖化の影響をより強く受ける次世代へ向けた環境学習や3Rの普及啓発、みどりの保全の3つの分野を中心に引き続き活動していく。</p> <p>○リサイクルひろば高井戸においては、再利用につながることを第一に、需給のバランスを見ながら引取り・販売に取り組み、収入増に繋げていく。</p> <p>○不用品情報コーナーについては、利用件数の大きな伸びは無いものの一定数の利用実績があることから、今後の利用拡大に向けた調査研究を行う。</p> <p>○当法人の活動に協力するボランティアや事業委員の新たな人材確保に向けた情報発信を行っていくとともに、民間事業者が提供する環境講座や学習支援教材などを活用し、経費節減と内容充実を図る手法を研究する。</p>
その他 (区への要望等)	<p>○持続可能な法人運営を目標として定め、受託事業である講座や講演会、リサイクルを促進する自主事業などを着実に推進するため、下記の点について要望します。</p> <p>①フードドライブ事業は、令和3年度を境に爆発的に増加しているため、事務量に見合った適正な人件費を念頭に置いた委託料の増額。</p> <p>②事業ボランティアの担い手を育成するために必要な、学校支援関係予算の増額。</p>

杉並区財団等経営評価(二次評価表)

事業分析	
目標設定の 考え方 (活動指標・ 成果指標)	令和4年度の目標値は、新型コロナウイルス感染症対策を加味しない実績に基づく設定に対して、いずれも9割以上の実績を達成していることから適正である。
事業分析 (現状の分析・ 評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団回収事業については、成果指標である集団回収量が減少傾向にある点については、全国的な古紙価格下落という外的要因によるものであるが、団体数の増を図るなど回収量を維持する対策が必要である。 ○ 衣料品販売については、来店者数の増加と工夫により売り上げが増加している点は評価できる。 ○ フードドライブ事業については、コロナ禍特有の寄付による大幅な未利用食品の提供数の増加に対応できた点は評価できる。 ○ 講座講演会については、タイムリーな環境問題について積極的に情報収集を行うとともに参加者アンケートを確認・分析して実施し、開催数、参加者数ともに増加している点は評価できる。
財務状況等の 推移 (財務状況 ・組織 ・サービス ・コスト)	<p>財務状況は、平成30年度から引き続いていた赤字(都の協力金及び国の持続化給付金を受給した令和2年度を除き)を脱却し、943万円余の黒字化を実現したことは評価できる。</p> <p>組織としては、家具販売事業撤退により人員の見直しを適切に行っている。</p> <p>サービスでは、リサイクルひろば高井戸における食器、衣料販売が、セールの実施などの営業努力により好調であったことは評価できる。</p> <p>コスト面では、人件費比率の低減により、職員一人当たりの事業収入が増加している。</p>
経営分析	
定量評価	<p>補助金収入比率が減少していることは好ましい傾向である。</p> <p>補助金収入比率と収益事業比率が低下し、区委託事業費比率が増加し86.9%に達していることから、令和4年度は区の委託事業が事業の中心となっている。</p>
定性評価	<p>組織的な研修体制の整備を行い、先進的な情報の収集や職員間での意見交換を活性化し、職員全員の知識やスキル向上に引き続き取り組む必要がある。</p> <p>講座等の区民からの申し込みは前年比で増加していることが評価できるが、ICT化について、情報発信等を含め、さらに積極的な対応により、利用者の増に対応できる環境整備を図る必要がある。</p>
区総合評価	
<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、リサイクルひろば高井戸の一時休止などがあったものの、第4次中期計画に基づき、受託事業である講座・講演会や集団回収、フードドライブ事業の実施、又は自主事業であるリユース事業等を通して、リユースやごみの減量、資源の有効活用に取り組み、区民へ環境問題に対する意識啓発や環境配慮行動の促進につながる取組に寄与した。また、コロナの影響を加味していない目標値に対して、いずれも9割以上達成していることは評価できる。</p> <p>○ 区民等に対する環境配慮行動促進の取組等として、積極的に情報収集を行っているが、ICT化について、環境団体等への支援や更なる情報発信等への充実を図る必要がある。</p> <p>○ 平成30年度から赤字決算が続いていたが、リサイクルひろば高井戸の販売の工夫等により食器・衣料販売が好調であり、家具販売撤退事業に伴う人件費削減により黒字となった。引き続き、黒字化を維持することと、長期的経営の安定化のため経営努力の継続が必要である。</p> <p>○ 区の委託事業の比率が高まっているが、今後は、自主事業の内容の拡充や、民間事業者が提供する講座等の活用のほか、引き続き各種助成金を活用した新たな事業についても検討する等、安定的な経営を目指すとともに、区の2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、幅広い区民等を対象に環境問題や地球温暖化対策を自分事と捉え関心を高める役割に一層寄与することを期待する。</p>	

令和5年度外部評価 質問票

財団等経営評価:特定非営利活動法人すぎなみ環境ネットワーク

質問No.	質問内容	
1	委員記入欄	フードドライブの提供となっているが指標などでは受付個数であり、実際の配布個数はどうなっているのか。
	所管課回答欄	<p>受付けた食料品等については、区内の子ども食堂及び杉並社会福祉協議会へ提供し、それ以外で余ったものはセカンドハーベストジャパン(※1)に送っていますので、受付個数イコール配布個数となっています。</p> <p>なお、区内の子ども食堂及び杉並社会福祉協議会への提供のみですと、令和4年度は96.1%となります。</p> <p>(※1)セカンドハーベストジャパン(Second Harvest Japan)は、食品会社などから提供を受けた食品を、生活困窮者に供給する活動などを目的とした特定非営利活動法人(NPO)。</p> <p>なお、セカンドハーベストジャパンへの送付は区からの指示によるものです。</p>
2	委員記入欄	資産が令和4年度に大幅に増加しているが要因は何か。
	所管課回答欄	令和3年度末をもって、旧杉並中継所を保管場所としていた家具事業を撤退したことから、工房職員8名が減員となり人件費957万円余減額となりました。また、家具販売がなくなり、約364万円減額となりましたが、食器・衣類のリサイクル販売が順調であり約555万円増収となったことが大幅な増額となった要因と捉えています。
3	委員記入欄	環境保全及びリサイクルに関する調査研究として令和4年度は何をしたのか。
	所管課回答欄	令和4年度調査研究としては、区民の生活に身近で役に立つテーマで講座・講演会・見学会を実施できるよう、絶えず情報収集を行うとともに、リサイクルひろば高井戸で取扱うエコ商品について、新商品の情報収集とエコ商品販売事業者1社へ訪問を行ったほか、貸出用環境関連書籍の情報について、センターを利用する各環境団体等から意見を収集し選定を行いました。
4	委員記入欄	リサイクルアイデア作品展・かんきょうアイデア展への出品が計画に比して少ないのはなぜか？
	所管課回答欄	コロナ禍前から計画値は変えていないため、乖離が生じていますが、令和4年度64件の出品に対して令和5年度は79件の出品数があり、コロナ禍前の出品数に近づいています。
5	委員記入欄	SDGsや温室効果ガス排出実質ゼロに向けた活動としてリサイクル以外の行動変容をはかる取り組みが必要であり、委託あるいは自主事業または企業等との協働事業を行う予定はないか。
	所管課回答欄	地球温暖化対策とゼロカーボンに関する講座講演会は、環境を意識した暮らし方とコミュニティづくり事業の中で実施しています。具体的には、トークショー「プラスチック資源循環法」のおはなし、講座「太陽の力はすごい！ソーラーミニカーをつくろう！」「燃料電池ってなんだろう？水素を使った発電実験をしてみよう！」などを行いました。また令和5年度実施に向けて、民間事業者と連携して環境・省エネ講座等の開催について検討しました。